

## 「学則の変更の趣旨等を記載した書類」資料目次

- (資料 1) 医師偏在指標（兵庫県）
- (資料 2) へき地等勤務医師（県養成医師）の養成について
- (資料 3) 兵庫県推薦入学制度を希望する志願者数の推移
- (資料 4) 学修成果表
- (資料 5) カリキュラム系統図
- (資料 6) 臨床実習シラバス（ささやま医療センター）
- (資料 7) 2023年度兵庫医科大学病院臨床研修医募集案内

(資料 1) 医師偏在指標 (兵庫県)

(兵庫県医療審議会地域医療対策部会 (第 23 回 令和元年 6 月 24 日資料抜粋))

医師偏在指標 (二次医療圏別・コード昇順表示)

※「順位」欄の網掛けは上位33.3% (医師多数区域)

都道府県名	二次医療圏名	医師偏在指標 (入院患者流出入及び 昼間人口を考慮)	順位	全国平均との 乖離率
00全国	-	238.6	-	-
28 兵庫県	2801神戸	303.1	30	+ 27.0%
28 兵庫県	2804東播磨	210.8	94	▲ 11.7%
28 兵庫県	2805北播磨	182.0	159	▲ 23.8%
28 兵庫県	2808但馬	195.8	123	▲ 17.9%
28 兵庫県	2809丹波	191.0	134	▲ 19.9%
28 兵庫県	2810淡路	186.8	148	▲ 21.7%
28 兵庫県	2811阪神	255.1	61	+ 6.9%
28 兵庫県	2812播磨姫路	189.3	139	▲ 20.7%

(資料2) へき地等勤務医師（県養成医師）の養成について

(令和2年 兵庫県医師確保計画 第2章 医師確保計画（医師全体）より抜粋)

【へき地等勤務医師（県養成医師）の養成について】

1 県では、卒後一定期間、県が指定する医療機関で勤務することを条件に修学資金を貸与し、へき地等で勤務する医師を養成している。

(1) 自治医科大学

離島や山村等のへき地の住民の医療の確保、健康の増進、福祉の充実に取り組む医師の養成を行う自治医科大学（昭和47年に都道府県が共同して設立、各都道府県が運営費を負担）において、都道府県ごとに2～3名の医学生を養成している。

(2) 兵庫医科大学

兵庫医科大学において、卒後へき地等に勤務する医師となる医学生を現在、5名の定員を設けて養成している（昭和47年度～）。

(3) 神戸大学、鳥取大学及び岡山大学

国の緊急医師確保対策や新成長戦略等に基づき、令和3（2021）年度まで、都道府県から修学資金の貸与を受け、卒業後にへき地等で一定期間勤務することが義務付けられている「地域枠」の設置を要件とした大学医学部の恒久定員外の定員増（臨時定員）が認められている。本県においては、この定員増を活用して、神戸大学・鳥取大学・岡山大学医学部に卒後へき地等で勤務する医学生を、現在、14名の定員を設けて養成している。

[各大学の定員]

大 学 名	定 員		【参考】「地域枠」（臨時定員増）入学定員の推移 （平成21年度以降）				
	うち臨時定員		H21	H22	H23	H24	H25～R3
自治医科大学	2～3名	—	—	—	—	—	—
兵庫医科大学	5名	(2名)	2名	2名	2名	2名	2名
神戸大学	10名	(10名)	—	3名	5名	8名	10名
鳥取大学	2名	(2名)	—	2名	2名	2名	2名
岡山大学	2名	(2名)	—	2名	2名	2名	2名
計	21～22名	(16名)	2名	9名	11名	14名	16名

2 県養成医師の数は、今後、順調に増加し、ピークとなる令和9（2027）年度において、190名を超える見込である。

しかしながら、国においては、医学部における臨時定員による地域枠の設置の在り方について、「令和4（2020）年度以降の医師養成数に関する議論を踏まえて検討し、令和2年中に結論を得る」こととされているものの、原則、臨時定員を廃止する方向で検討が進められている。

本県としては、地域に必要な医師が十分に確保されるまで医学部臨時定員増の延長が必要であるとの認識の下、延長を国に対し働きかけるなど、今後とも県内大学医学部等への地域枠定員の確保に努めていく。

《県養成医師数の推移（見込）》

(単位：人)

H30(2018)年度	R1(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度
72	87	108	121	136	154	170	181	190	192

(資料 3) 兵庫県推薦入学制度を希望する志願者数の推移

	R4	R3	R2	R1	H30
一般入試（一般選抜）志願者	1,478	1,540	1,796	1,852	2,136
うち兵庫県推薦入学制度を希望する者	127	128	124	122	135
兵庫県推薦入学制度の定員	5	5	5	5	5

理念 (建学の精神)	領域(4)	要素 (ディプロマ・ポリシー)	細目	レベルS	レベルA	レベルB	レベルC	
社会の福祉への奉仕	関心・意欲・態度	安心・安全な医療に強い使命感と自覚性を有し、優れた協働精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している	社会福祉	地域保健・福祉および介護システムを理解し、地域連携を図る	健康および医療に貢献するものとして必要な幅広い教養を持つ	専門職としての社会における立場および役割を説明できる	医療専門職としての社会における立場および役割を理解できる	
			チーム医療	チーム医療において患者個々に配慮した最適なアプローチにて、常に良好な医療を提供できる	医師・看護師・理学療法士など医療関係者全体で協働し、チーム医療を提供できる	多科チームでの仮想症例を通じたチーム医療学習の場で、多職種よりなるチーム医療を成立させることができる	様々な専門分野の協力にもとづくアプローチを理解できる	
	思考・判断	医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協働できる	安心な社会と医療	医療の24時間対応と医師の働き方(ワークライフバランス)の実現に取り組む	適切な医療へのかかりやすさ(accessibility)の重要性と当直医の持つべき能力を説明できる	院内や地域の連携の重要性を理解できる	安心な社会に対する国民の期待を理解できる	
			地域医療(兵庫県・兵庫県の医療を含む)	本邦の医療政策を理解し、患者の社会的背景に応じた適切な医療を提供できる。兵庫県の医療・医療・福祉・介護および行政における問題解決方法を検討できる	地域医療において適切な診断のアセスメントを立案し、治療計画を組むことができる。兵庫県の保健・医療を体感し、諸問題を議論することができる	家庭医およびプライマリ・ケア医として必要な総合診療に必要な具体的な知識、および各種の健康指導や医療支援に必要な知識を習得している。兵庫県の保健・医療・福祉・介護および行政に関する知識を習得し、諸問題を議論することができる	医療は社会経済活動の一環であることを理解し、医療を社会問題の対象として捉えることが出来る。兵庫県の保健・医療・福祉・介護および行政は、実際の場のように行われているのか、どのような問題が生じているのかを理解できる	
	技能・表現	人文社会科学を含む幅広い教養と国際性を身につけて、海外からの情報を積極的に利用できる語学力を有し、国際保健に貢献できる	プライマリケア	プライマリケアを実践する	プライマリケアの場で医療面接により臨床推論ができる	プライマリケアの医師に必要な知識と技術を提示できる	プライマリケアの役割と重要性を理解できる	
			幅広い教養	医療人類学、進化医学など幅広い教養を身につけて、ライフスタイル変化における行動科学的アプローチを身につけることができる	他者に対して診療の場で文化的・社会的な理解を示し、傾聴、理解、支持的態度を示すことができる	構造的な状況下で文化的・社会的な理解を示し、傾聴できる	医療人類学、進化医学を含め文化的・社会的な知識を有する	
	知識・理解	人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解している	国際保健	国際保健	医療のない貧困地区における救済活動や、世界の健康の向上及び増進のための国際機関などの活動に協力する	世界の健康の向上及び増進に努める国際機関などの活動を説明できる	医療のない貧困地区の実態を説明できる	諸外国の医療に興味を持ち、多様な人々と交流する
				社会と医療	社会科学的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している	社会科学的な重要(健康、夜間休日診療、予防接種など)に参画し、医療政策に意見を述べることができ、適切な医療の提供を減らすことができ、人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景の改善に携わる	人体や疾病に影響を与える因子、ストレス、ICOTなど社会の変化を説明できる	社会の問題、医療、医療経済に関心を持ち、健康、社会福祉に関する問題を理解できる。ボランティア活動を理解し参加する

理念 (建学の精神)		領域(4)	要素 (ディプロマ・ポリシー)	細目	レベルS	レベルA	レベルB	レベルC
人間への深い愛	関心・意欲・態度	豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域ならびに母校への帰属意識を有している	豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守り、社会の福祉に奉仕する医師としての職責を自覚し、地域ならびに母校への帰属意識を有している	職責の自覚(プロフェッショナルナリズム)	豊かな人間性を有し、プロフェッショナルナリズムを實踐し、同僚後輩の模範となる	自己を医師・管理し、自分の行動に責任をもって他者に誠実に対応できる	他者の評価に対して自己に反映できる	品位と礼節を保ち、自分の行動に対して責任を持つことを理解できる
				健康社会の推進	生命の尊厳について深い認識を有し、健康な社会づくりに寄与する	人の命と健康および生活の質を守るため、患者や一般の方々にわかりやすく行動変容を促すことができる	人の命と健康および生活の質を守ることを理解し、社会の福祉について理解できる	健康を言う外的要因について理解できる(タバコ、アルコール、飲酒、薬物、ハラスメント)など
				帰属意識	それぞれの地域に根をおろし活動するとともに、兵庫医科大学卒業を誇りに感じ、同窓会活動にも参加する	兵庫県の特色を理解し、臨床医学の分野における兵庫医科大学の業績を説明できる	基礎医学の分野における兵庫医科大学の業績を理解できる	兵庫医科大学の歴史と伝統を理解できる
				生命倫理	生命倫理に沿った行動ができる	生命倫理に沿った医師の行動を説明できる	医師の義務や医療倫理について理解している	個人情報を含む患者の権利の概念・定義を理解している
				患者の権利と生命の尊厳	生と死、生命の尊厳について省察できる。エンド・オブ・ライフケア、アドバンス・ケア・プランニングを多職種とともに実践できる	患者やその家族と生命の尊厳について話すことができ、患者の権利を説明できる。エンド・オブ・ライフケア、アドバンス・ケア・プランニングを多職種とともに実践できる	生と死について考え、患者の権利を説明できる。エンド・オブ・ライフケア、アドバンス・ケア・プランニングについて理解できる	命の大切さを知り、自分や他人を傷つけない、よく生きることの重要性を理解できる
				多様性の理解	他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、社会の様々な人々や団体と積極的に関わる	行動科学の知識を實踐し、他者の、文化、人種、年齢、社会経済的状況、性別、性嗜好、信仰、障がい、その他の多様性に配慮した対応が可能で、学外の様々な人々や団体と積極的に関わる	行動科学と臨床医学の関わりを理解し、患者と、共感、敬意、思いやりをもって接することができる。学内の様々な人々や団体と積極的に関わる	人間の心理・行動科学の基本、ならびに患者および家族の社会的背景を理解でき、同級生らと積極的に関わり、目上の人を尊敬し、コミュニケーションできる。ハラスメントをしない
				医療の均てん化	医療資源の乏しい地域の医療を實踐する	医療資源の乏しい地域の医療の経験を通じて地域・偏在、診療科偏在について考え、意見を述べることができる	地域偏在、診療科偏在の問題のある地域の住民との交流を通して、考え、意見を述べることができる	医療資源偏在の現状について理解できる
				コミュニケーション能力	適切な患者およびその家族との医療コミュニケーションができる	適切な患者およびその家族との医療コミュニケーションができる。医療従事者、職場環境で適切なコミュニケーションができる	適切な医療コミュニケーションができる	他者の気持ちを考えることができ、挨拶も積極的に行うことができる
				ハンディキャップ	能力障害の解決を含めハンディキャップを持つ人々への支援ができる	能力障害が生み出される背景を理解し、ハンディキャップや病気にあった人の気持ちを汲み取ることができる	誰もがハンディキャップや能力障害を持つ可能性があることを理解できる	様々な病気のハンディキャップがあることや患者の痛みを理解できる
				知識・理解	慢性の痛みを含め、患者の痛み、苦しみ、悩みに対して全人的に対応できる	慢性の痛み、苦しみ、悩み、悩みに対する治療、対応を行うとともに慢性の痛みの存在を知り、患者とコミュニケーションできる	患者の痛み、苦しみ、悩み、悩みの関係を説明できる。痛みの基礎的メカニズムを理解できる	患者の痛み、苦しみ、悩み、悩みの痛みを知る

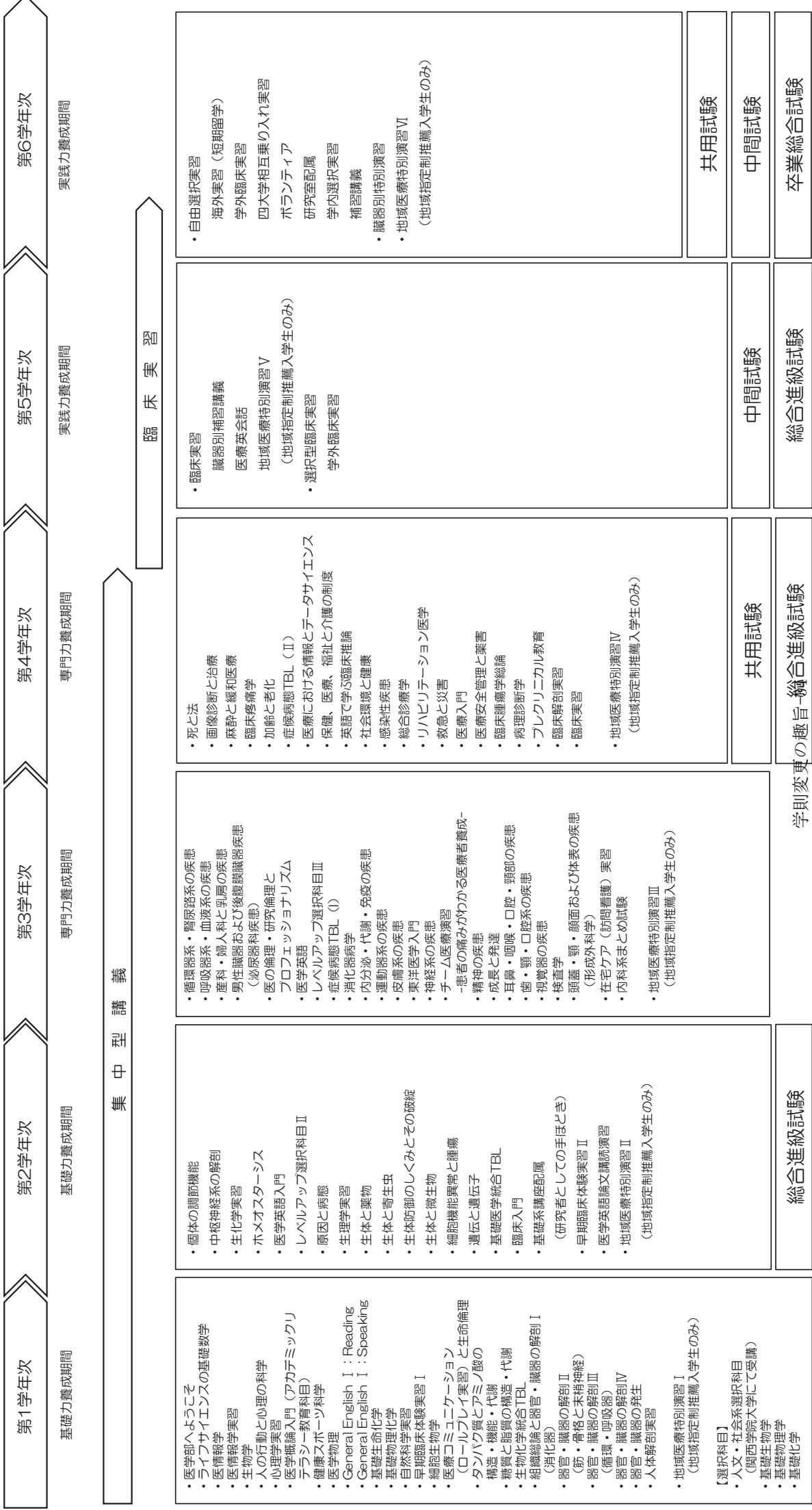
学修成果

理念 (建学の精神)	領域(4)	要素 (ディプロマ・ポリシー)	細目	レベルS	レベルA	レベルB	レベルC	
人間への幅広い科学的理解	関心・意欲・態度	医学・医療の進歩と改善に資するため、研究を遂行する意欲と生産にわたり自己研鑽を続ける態度を有し、同僚・先輩への教育に労を惜しまない	科学的探究心	基礎・臨床における問題点を挙げ、研究結果を学外に発信し、学会等で議論できる	臨床の場における問題点を挙げ出し探求するための手段・道筋を説明できる	基礎・臨床における研究成果の内容を把握できる	医学的な研究について知識を持っている	
			生涯学習	生涯にわたり医学の進歩に応じて最先端の知識と技術を能動的に学修できる	臨床医学の知識、技術、研究成果を能動的に学修できる	基礎医学の知識、技術、研究成果を能動的に学修できる	基礎医学の知識、技術、研究成果を能動的に学修できる	自学自習の態度を身につけ、能動的な学修ができる
			教育能力	指導医、専攻医、レジデント、研修医、学生へそれぞれ後輩に指導、助言ができる	臨床医学の分野で同級生間で教えあい、相互に学修成果を高められることができる	基礎医学の分野で同級生間で教えあい、相互に学修成果を高められることができる	友人を尊重し、互いに教えあう態度を養成できる	
	思考・判断	患者の持つ様々な問題点を科学的かつ総合的に捉え、的確に判断し解決できる応用力と問題解決能力を有している	臨床疫学・医学統計学の業を踏まえ診療計画を立てEBMを実践できる	臨床推論	臨床疫学・医学統計学の業を踏まえ診療計画を立てEBMを実践できる	病歴聴取、身体所見から鑑別診断を適切に実行し、臨床推論を行える	エビデンスに基づいた臨床推論の重要性を理解している	
				問題解決能力	国際学術論文を含めて適切な情報収集ができ、それをもとに患者の診断と治療が適切に実践できる	国際学術論文を含めて適切な情報収集ができ、それをもとに患者の診断と治療計画を立案できる	患者の病の解解、感情、期待、問題を認識できる	患者の病の解解、感情、期待、問題を認識できる
				基本的な診察法	診察法について指導ができる	一人で体系的に系統立てて診察でき、診療録を適切に記載できる	診察で用いる器具の名称が分かり、使用できる	診察を見学し、内容を理解できる
	技能・表現	基本的な診察法、医療技術、救命救急法を修得しており、全身を総合的に診察するための実践的能力、ならびに医療安全と危機管理の能力を有している		医療技術・検査	基本的な臨床手技の方法や種々の検査法を指導できる	基本的な臨床手技の方法ならびに検査を掌握できる	基本的な臨床手技の方法や検査法を説明できる	基本的な臨床手技の方法や検査法があることを知っている
				救命救急	ACLSを要し、指導できる。緊急性の高い疾患に応急措置を行い必要な対応、移送ができる	ACLSとBLSの違いを理解し、ACLSで必要な蘇生法を理解・修得する。緊急性の高い疾患について迅速に判断できる	BLSを要し、指導できる。緊急性の高い疾患を列挙できる	BLSが理解できる
				予防医学と健康増進	健診の結果説明、疾病予防の的確な指導ができる。患者の行動変容を促す指導ができる	健診の結果説明、疾病予防法を策定し説明ができる	生活習慣病の発症にかかわる因子を理解し説明できる	生活習慣病と疾病予防の重要性を理解できる
	知識・理解			医療安全	医療安全、感染対策を理解し、遵守、実践、管理ができる	医療安全、感染対策を理解・説明できる	医療現場におけるリスクを説明できる	一般に人はミスを犯すということを理解する
				人体の構造・機能	人体構造・機能を理解したうえで、最適な医療を実践できる	人体構造・機能をもちに病態を把握できる	人体構造・機能と疼痛の関わりを説明できる	人体の構造の特性、機能との関連を理解できる
				原因・病態	頻度の高い疾患の病因・病態の知識をもとに、適切な医療が実践できる	頻度の高い疾患の病因・病態の知識をもとに、臨床に活用できる医療を実践する素養を身につけていく	頻度の高い疾患の病因・病態を理解している	頻度の高い疾患を知っている
診断・治療	頻度の高い疾患について、適切に診断・治療できる	頻度の高い疾患について、適切に診断・治療方針を立てることができる	頻度の高い疾患について、診断、治療の知識がある	頻度の高い疾患を知っている				

※細目のレベルは目安を次のとおり設定しております。レベルS・・・卒業後の医師(研修修了後)レベル/レベルA・・・卒業時(6年生)レベル/レベルB・・・臨床実習開始前(4年生)レベル/レベルC・・・2年生修了レベル

# カリキュラム系統図

(資料5) カリキュラム系統図





臨床実習2週間コース

◎診療科名：ささやま医療センター

◎責任者氏名：片山 覚 病院長

◎実習目標

- (1) プライマリケア医の役割と診療の特徴を理解し、外来研修に必要な臨床推論を学ぶ。
- ① 外来実習でAIタブレット問診、JTAS トリアージ、臨床推論、継続外来についての実習を行う
  - ② 生活モデルのヘルスケアなど、身近な診療を担うプライマリ・ケア医の役割を経験する。
- (2) 地域包括ケアにおけるチーム医療の重要性について説明できる
- ① 外来の窓口業務の実習を通じて多職種協働の重要性を学ぶ。
  - ② 亜急性期の入院患者を担当し、患者中心の医療、生活モデルの包括的ヘルスケアについて学ぶ。
- (3) 予防医療の実習では、健診での早期発見と個別指導を行う。
- ① メタボリック症候群とフレイルの診断と予防について学ぶ
  - ② PHR:Personal Health Record (ヘルスケアパスポート™) を使用した自己管理について学ぶ

◎実習内容

地域包括ケアとプライマリ・ケアの現場で業務に参加し、以下の実習を行う。

(1) 診療実習

① 初診外来

- ・ AI問診 Ubie で入力された、問診、トリアージを使用して、臨床推論とトリアージを実習する
  1. AI 問診が出力した問診と鑑別診断について根拠を示して評価し、最も可能性が高いと考えた疾患、可能性は低いが見逃せない疾患について、診療計画を考察し、レポートを作成する
  2. AI 問診が出力したトリアージ結果について根拠を示して評価し、考えられる疾患とともに適切かどうかを考察し、レポートを作成する
  3. 経験した症例から症候を一つ選んで、その臨床推論と診断治療についてレポートを作成する
  4. 経験した症例から検査以上を一つ選んで、その臨床推論と診断治療についてレポートを作成する

ケースレポート A：上記1および2と3もしくは4のうちどちらかについて、レポートを提出する  
(合計3項目)

② 再診及び継続外来、回復期入院症例

- ・ 継続通院している Common disease のケースについて、以下の視点から実習する
  - 1 コントロール状況の評価と必要な改善方法を考察し、レポートを作成する
  - 2 自己管理の評価と改善方法について考察し、レポートを作成する
  - 3 患者自身の困りごとを患者中心の臨床技法での「やまい」としての評価と対処方法を考察しレポートを作成する
  - 4 人生の最終段階の医療やケアについて患者の思いについての話し合いに立ち会い、その内容について考察しレポートを作成する
  - 5 リハビリ及びケアプラン作成について、評価と対処方法について考察しレポートを作成する

ケースレポート B：上記項目1～4のうち、1項目と項目5についてレポートを提出する  
(合計2項目)

### ③ 健診外来

- ・ 健診受診者の各種測定や腹囲・内臓脂肪測定、眼底写真撮影を担当する
- ・ PHR:Personal Health Record（ヘルスケアパスポート™）を使用方法の説明と導入

### 2 生涯学習のための ICT 活用実習

- ・ 実習中に会った疑問や課題を多様なメディアを使って、自分で調べた理、動画で学習することを経験する。検索では、そのリソースを科学的に吟味し、できるだけいんなりリソースから検索し、適切な判断ができるように心がける。

### 3 訪問診察

- ・ 訪問診察の見学実習日を電子カルテの予定日から選択して、研修医と合わせて同行3人までの人数で同行する。

### 4 健康教室\*・予防医療実習

- ・ 新型コロナワクチン接種 非定期
  - ・ デカボー体操\* 月曜日 午後2時から
  - ・ 認知症カフェ（ささやまみらいカフェ）\* 毎月第1週月曜日 午後2時から
- \*感染症流行時期等により、実施しない場合あり。実施可否についてはスケジュールにて確認すること。

## ◎実習要領

- (1) 実習初日8：30にささやま医療センター2階会議室に集合し、ガイダンスを行う。
- (2) 1～6人に分かれて外来、病棟、手術、検査等を実習する日がある。各自の週間予定は、ささやま医療センターで割振っている実習スケジュールを実習初日にガイダンスで確認すること。

## ◎注意事項

1. 週始めの日曜日からささやま医療センター付設の宿舎に泊まることを原則とする。  
(前週の水曜日12：00までに教学課にて宿泊手続きを行うこと)
2. 食費、着替え、洗面具などの準備が必要である。  
(実習中の昼食は必ず前日に用意して朝持参すること)
3. ささやま医療センターへの交通手段は鉄道、自家用車とも自由であるが、後者の場合くれぐれも交通事故をおこさないように留意されたい。特に冬場は、積雪、凍結などの可能性があるため自家用車は避けること。
4. 学生証及び健康保険証（写）（または遠隔地被扶養者証）は必ず持参すること。
5. 実りある二週間になるように、臨床医の卵として積極的に、かつ真摯な態度で実習に取り組んでもらいたい。
6. 最終総括終了後にケースレポートA（3例）、ケースレポートB（2例）を提出する。全体を通じて、地域医療について最も学んだ内容についてポートフォリオを作成し、これをパワーポイントを使って最終日に発表する。ポートフォリオに選ぶテーマはどの領域のものでも可です。
7. ハッピーマンデーの取り扱いについて  
「敬老の日」「成人の日」は、休診のため臨床実習は休講となります。

2022年7月18日（月）⇒休診のため臨床実習は休講

2022年9月19日（月）⇒休診のため臨床実習は休講

2022年10月10日（月）⇒休診のため臨床実習は休講

◎学生実習の学習課題と方略、評価について

A : 臨床推論  
(※2週間コース2例)

初診もしくは、再診であっても新たな健康問題についての診療したケースについて、SNAPPS法 (Terry M. Wolpaw 2003) に準じて、ケースレポートを作成する

- Summarize History & Physical H&P を簡潔に整理する 受診動機を含む
- Narrow the differential 鑑別診断を挙げて絞る
- Analyze the differential 列挙した鑑別診断を検討する
- Probe the uncertainties 理解できてないことを列挙する
- Plan management 診療計画を立てる
- Select case-related self-study 振り返りを行い、学習課題を列挙する

継続的に外来診療を行っている **Common disease** のケースについて、**GRIPE** モデルを使って。ケースレポートを作成する

- **Guidelines and Goals.** ガイドライン、ステージング、個別のゴール設定
  
- **Reflect on the patient.** 患者についての振り返り 患者ケアスキルの評価、コントロール状況の評価、背景、心理社会的な要因、患者のアドヒランス評価とその要因 など
  
- **Interventions.** 治療法変更、指導、追加検査、支援や話題提供についての観察や考察
  
- **Prevention, Pain and Palliation.** (増悪や合併症の予防、疼痛コントロール、緩和ケアについての観察や考察)
  
- **Effective Feedback.** (患者への効果的なフィードバックについての観察および考察)

<p>疾病 : disease</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 主訴</li><li>● 病歴</li></ul>     <ul style="list-style-type: none"><li>● 身体所見</li></ul>  <ul style="list-style-type: none"><li>● 検査所見</li></ul>  <ul style="list-style-type: none"><li>●</li></ul>	<p>病い : illness</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 解釈</li></ul>     <ul style="list-style-type: none"><li>● 期待</li></ul>     <ul style="list-style-type: none"><li>● 感情</li></ul>     <ul style="list-style-type: none"><li>● 影響</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 臨床診断</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 病いの診断</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 統合された理解</li></ul>    <ul style="list-style-type: none"><li>●</li></ul>	

● 経験省察研修録（ポートフォリオ）により評価を行う

a. 生ポートフォリオ

＝研修（実習）の過程で蓄積された情報

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 症例ログ</li> <li>■ 退院サマリー</li> <li>■ 調べた論文・資料</li> <li>■ カンファレンスの記録</li> <li>■ 上級医・多職種からのアドバイスのメモ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定表</li> <li>● 研修目標</li> <li>● 振り返りの記録</li> <li>● 研修手帳</li> <li>● 研修評価表</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 患者からの手紙</li> <li>■ 患者と撮った写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勉強会の資料</li> <li>● 学会発表の記録</li> <li>● 論文作成の記録</li> </ul>

b. 提出用ポートフォリオ

＝見せるためにまとめたもの

- 経験省察研修録検討会（発表会）用のスライドやポスター
- 提出用の書式に沿って作成したもの

c. 領域

以下のいずれかの領域について、経験省察記録を作成し提出する

1. 未分化で多様かつ複雑な健康問題への対応
2. 健康増進と疾病予防
3. 継続的な医療・ケア
4. 患者中心の医療
5. 家族志向型医療・ケア
6. 多職種協働のチーム医療
7. 医療機関連携および医療・介護連携
8. 組織運営マネジメント
9. 保健・医療・介護・福祉事業への参画
10. 地域ニーズの把握とアプローチ
  11. 自己研鑽とワークライフバランス
  12. 研究と教育
  13. 幼小児・思春期のケア
  14. 生活習慣病のケア（行動変容アプローチを含む）
  15. 高齢者のケア
  16. 終末期のケア（人生の最終段階におけるケア）
  17. 女性特有もしくは男性特有の健康問題
  18. リハビリテーション
  19. メンタルヘルス
  20. 救急医療

氏名		学生番号	
事例発生時期	年 月 日	終了時期	年 月 日
領域			
表題			

記載上の注意：10.5ptの文字を用いて記載すること。このページを含めて2枚に収めること。

1. なぜこの事例をこの領域において報告しようと考えたか

2. 事例の記述と考察 （実践した具体的内容（経過や問題の分析から解決に至るプロセス）および

今後の学習課題の設定を中心とした省察とその根拠）

【症例・事例】

【考察】

【事例からの学びのエッセンス】

【参考文献】

2週間コース

	学習目標	方略	評価
在宅医療 (中山・金田・片山)	訪問診療に同行し、その意義を病いと生活の関連を理解する	訪問診療に同行し、指導医と身体診察や診療の補助を行う	訪問診療のレポート提出⑧ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
地域社会実習 (片山・伊豆丸)	地域を探訪したり地域の生活に触れて、地域を知り、暮らす人々の理解を深める	地域の人との交流を通じて地域の歴史や文化を通じて地域に住む人を理解する 時間会いに外出する場合は、計画提出し許可を得る	レポート提出⑧ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
時間外実習 (看護部、当直医)	時間外診療について他職種から学ぶ		レポート提出⑧ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
健診実習(片山)	予防医療や健診の役割や重要性について理解し、その業務に参加して学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 眼底写真、血圧測定、視力測定、聴力検査、腹囲と内臓脂肪測定ができる</li> <li>● 高齢者基本チェックリスト運動機能健診で介護リスク評価が実施できる(65歳以上)</li> <li>● ロコモチェックにより運動器フレイルの高リスク者の健診を実施できる。</li> <li>● 動画を使い生活習慣病の健診事後指導ができる</li> <li>● 健診異常者の診療計画を立ててみる</li> </ul>	レポート提出⑧ 個人で学習深化④ 優れていれば⑤
外来実習(片山)	診断がついていない患者の問診からの臨床推論を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問診をしてカルテに記載、鑑別診断と臨床推論を指導医、研修医と友に行い、振り返りカンファレンスで発表する</li> <li>● 生活習慣病の健診異常者の診療を見学して、ガイドラインによる診療を学ぶ</li> </ul>	レポート提出⑧ 個人で学習深化④ 優れていれば⑤
病棟回診/カンファレンス(片山)	カンファレンスに積極的に参加し学習を深化させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 振り返り症例検討日参加する臨床推論に関する抄読会・ミニレクチャーを聴講</li> <li>● 外来研修の症例提示をする</li> </ul>	レポート提出⑧ 個人で学習深化④ 優れていれば⑤
学修成果発表会とポートフォリオ作成	2週間の学習成果をまとめて発表する	● 地域志向型実習を通じて振り返りを行い、学修を深め、まとめて発表することで学びを深める	発表内容(ポートフォリオ)の提出⑧ 省察あれば④ 省察が優れていれば⑤



## ◎実習目標

- (1) プライマリケア医の役割と診療の特徴を理解し、外来研修に必要な臨床推論を学ぶ。
  - ① 外来実習でAIタブレット問診、JTAS トリアージ、臨床推論、継続外来についての実習を行う
  - ② 生活モデルのヘルスケアなど、身近な診療を担うプライマリ・ケア医の役割を経験する。
- (2) 地域包括ケアにおけるチーム医療の重要性について説明できる
  - ① 外来の窓口業務の実習を通じて多職種協働の重要性を学ぶ。
  - ② 亜急性期の入院患者を担当し、患者中心の医療、生活モデルの包括的ヘルスケアについて学ぶ。
- (3) 予防医療の実習では、健康長寿教室での集団教育と健診での早期発見と個別指導を行う。
  - 5 健康長寿教室においての講師を担当し、市の行うデカボー体操に参加する。
  - ② 腹囲と内臓脂肪の測定、メタボリック症候群への行動変容を考慮した患者指導について学ぶ。

## ◎実習内容

地域包括ケアとプライマリ・ケアの現場で業務に参加し、以下の実習を行う。

- (1) 外来診療実習
  - ① 初診および救急外来
    - ・ AIタブレット問診 Ubie を使い、問診、トリアージを行い、担当した症例について、SNAPPS 法でケースレポートを作成する。
  - 6 再診及び継続外来
    - ・ 継続的に通院している Common disease のケースについて、診療を見学・補助し、GRIPE モデルを使って、ケースレポートを作成する
  - 7 健診外来
    - ・ 健診受診者の各種測定や腹囲・内臓脂肪測定、眼底写真撮影を担当する。
    - ・ 健診結果により必要な問診や指導を担当する。
  - 8 訪問診察
    - ・ 訪問診察の見学実習日を電子カルテの予定日から選択して、研修医と合わせて同行3人までの人数で同行する。
  - 9 健康教室\*・予防医療実習
    - ・ 新型コロナワクチン接種 非定期
    - ・ デカボー体操\* 月曜日 午後2時から
    - ・ 認知症カフェ（ささやまみらいカフェ）\* 毎月第1週月曜日 午後2時から

\*感染症流行時期等により、実施しない場合あり。実施可否についてはスケジュールにて確認すること。

## ◎実習要領

- (1) 実習初日 8：30 にささやま医療センター2階会議室に集合し、ガイダンスを行う。
- (2) 外来、病棟、手術、検査等を実習する日がある。各自の週間予定は、ささやま医療センターで割振っている実習スケジュールを実習初日にガイダンスで確認すること。

## ◎初回集合場所

8：30 第1会議室

## ◎注意事項

1. 週始めの日曜日からささやま医療センター付設の宿舎に泊まることを原則とする。  
(前週の水曜日12:00までに教学課にて宿泊手続きを行うこと)
2. 食費、着替え、洗面具などの準備が必要である。  
(実習中の昼食は必ず前日に用意して朝持参すること)
3. ささやま医療センターへの交通手段は鉄道、自家用車とも自由であるが、後者の場合くれぐれも交通事故をおさないように留意されたい。特に冬場は、積雪、凍結などの可能性があるため自家用車は避けること。
4. 学生証及び健康保険証(写)(または遠隔地被扶養者証)は必ず持参すること。
5. 実りある四週間になるように、臨床医の卵として積極的に、かつ真摯な態度で実習に取り組んでもらいたい。
6. 最終総括終了後にポートフォリオ(1例)、ケースレポートA(2例)、ケースレポートB(1例)、ケースレポートC(1例)提出すること。
7. ハッピーマンデーの取り扱いについて  
「敬老の日」「成人の日」は、休診のため臨床実習は休講となります。

2022年7月18日(月)⇒休診のため臨床実習は休講

2022年9月19日(月)⇒休診のため臨床実習は休講

2022年10月10日(月)⇒休診のため臨床実習は休講

◎学生実習の学習課題と方略、評価について

A : 臨床推論  
(※4週間コース4例)

初診もしくは、再診であっても新たな健康問題についての診療したケースについて、SNAPPS法 (Terry M. Wolpaw 2003) に準じて、ケースレポートを作成する

- Summarize History & Physical H&P を簡潔に整理する 受診動機を含む
- Narrow the differential 鑑別診断を挙げて絞る
- Analyze the differential 列挙した鑑別診断を検討する
- Probe the uncertainties 理解できてないことを列挙する
- Plan management 診療計画を立てる
- Select case-related self-study 振り返りを行い、学習課題を列挙する

継続的に外来診療を行っている **Common disease** のケースについて、**GRIPE** モデルを使って。ケースレポートを作成する

- **Guidelines and Goals.** ガイドライン、ステージング、個別のゴール設定
- **Reflect on the patient.** 患者についての振り返り 患者ケアスキルの評価、コントロール状況の評価、背景、心理社会的な要因、患者のアドヒランス評価とその要因 など
- **Interventions.** 治療法変更、指導、追加検査、支援や話題提供についての観察や考察
- **Prevention, Pain and Palliation.** (増悪や合併症の予防、疼痛コントロール、緩和ケアについての観察や考察)
- **Effective Feedback.** (患者への効果的なフィードバックについての観察および考察)

<p>疾病 : disease</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主訴</li> <li>● 病歴</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身体所見</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>● 検査所見</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>	<p>病い : illness</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 解釈</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>● 期待</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感情</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>● 影響</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 臨床診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 病いの診断</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 統合された理解</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>	

- 経験省察研修録（ポートフォリオ）により評価を行う
  - a. 生ポートフォリオ
    - = 研修（実習）の過程で蓄積された情報

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 症例ログ</li> <li>■ 退院サマリー</li> <li>■ 調べた論文・資料</li> <li>■ カンファレンスの記録</li> <li>■ 上級医・多職種からのアドバイスのメモ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定表</li> <li>● 研修目標</li> <li>● 振り返りの記録</li> <li>● 研修手帳</li> <li>● 研修評価表</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 患者からの手紙</li> <li>■ 患者と撮った写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 勉強会の資料</li> <li>● 学会発表の記録</li> <li>● 論文作成の記録</li> </ul>

- c. 提出用ポートフォリオ
  - = 見せるためにまとめたもの
    - 経験省察研修録検討会（発表会）用のスライドやポスター
    - 提出用の書式に沿って作成したもの

d. 領域

以下のいずれかの領域について、経験省察記録を作成し提出する

1. 未分化で多様かつ複雑な健康問題への対応
2. 健康増進と疾病予防
3. 継続的な医療・ケア
4. 患者中心の医療
5. 家族志向型医療・ケア
6. 多職種協働のチーム医療
7. 医療機関連携および医療・介護連携
8. 組織運営マネジメント
9. 保健・医療・介護・福祉事業への参画
10. 地域ニーズの把握とアプローチ
  11. 自己研鑽とワークライフバランス
  12. 研究と教育
  13. 幼小児・思春期のケア
  14. 生活習慣病のケア（行動変容アプローチを含む）
  15. 高齢者のケア
  16. 終末期のケア（人生の最終段階におけるケア）
  17. 女性特有もしくは男性特有の健康問題
  18. リハビリテーション
  19. メンタルヘルス
  20. 救急医療

氏名		学生番号	
事例発生時期	年 月 日	終了時期	年 月 日
領域			
表題			

記載上の注意：10.5ptの文字を用いて記載すること。このページを含めて2枚に収めること。

1. なぜこの事例をこの領域において報告しようと考えたか

2. 事例の記述と考察 （実践した具体的内容（経過や問題の分析から解決に至るプロセス）および

今後の学習課題の設定を中心とした省察とその根拠）

【症例・事例】

【考察】

【事例からの学びのエッセンス】

【参考文献】

◎学生実習の学習課題と方略、評価について

4 週間コース

	学習目標	方略	評価
在宅医療 (中山・金田・片山)	訪問診療に同行し、その意義を病いと生活の関連を理解する	訪問診療に同行し、指導医と身体診察や診療の補助を行う	訪問診療のレポート提出③ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
手術見学	手術手技に加えて、他職種による安全管理、周術期管理について学ぶ		レポート提出③欠席④ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
内視鏡見学	内視鏡主義や所見の読影に加えて、他職種による安全管理、周術期管理について学ぶ		レポート提出③欠席④ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
画像診断演習 (井上)	MRI 画像診断の基礎を学ぶ	画像を供覧しその特徴を知る	レポート提出③欠席④ 質問など積極的な姿勢④ 非常に優れていれば⑤
地域社会実習 (片山・伊豆丸)	地域を探訪したり地域の生活に触れて、地域を知り、暮らす人々の理解を深める	地域の人との交流を通じて地域の歴史や文化を通じて地域に住む人を理解する 時間会いに外出する場合は、計画提出し許可を得る	レポート提出③ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
時間外実習 (看護部、当直医)	時間外診療について他職種から学ぶ		レポート提出③ 個人・グループで学習深化④ 優れていれば⑤
健診実習(片山)	予防医療や健診の役割や重要性について理解し、その業務に参加して学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 眼底写真、血圧測定、視力測定、聴力検査、腹囲と内臓脂肪測定ができる</li> <li>● 高齢者基本チェックリスト運動機能健診で介護リスク評価が実施できる(65歳以上)</li> <li>● ロコモチェックにより運動器フレイルの高リスク者の健診を実施できる。</li> <li>● 動画を使い生活習慣病の健診事後指導ができる</li> <li>● 健診異常者の診療計画を立ててみる</li> </ul>	レポート提出③ 個人で学習深化④ 優れていれば⑤



外来実習(片山)	診断がついていない患者の問診からの臨床推論を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問診をしてカルテに記載、鑑別診断と臨床推論を指導医、研修医と友に行い、振り返りカンファレンスで発表する</li> <li>● 生活習慣病の健診異常者の診療を見学して、ガイドラインによる診療を学ぶ</li> </ul>	レポート提出⑥ 個人で学習深化④ 優れていれば⑤
病棟回診/カンファレンス(片山)	カンファレンスに積極的に参加し学習を深化させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 振り返り症例検討日参加する臨床推論に関する抄読会・ミニレクチャーを聴講</li> <li>● 外来研修の症例提示をする</li> </ul>	レポート提出⑥ 個人で学習深化④ 優れていれば⑤
学修成果発表会とポートフォリオ作成	4週間の学習成果をまとめて発表する	● 地域志向型実習を通じて振り返りを行い、学修を深め、まとめて発表することで学びを深める	発表内容（ポートフォリオ）の提出⑥ 省察あれば④ 省察が優れていれば③

※選択研修

◆ 到達チェック項目 ◆

内科	出来た	出来なかった
<input type="checkbox"/> 診察の基本手技の取得	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 糖尿病患者の合併症の理解・診察	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 糖尿病患者の検査結果の理解及び病態の把握	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 甲状腺の触診	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 甲状腺疾患の病態の理解・診断及び治療計画の立案	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 甲状腺超音波検査の実施・読影	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 問診法	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 診察法	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 患者の生活指導	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 静脈採血	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 糖尿病関連検査の理解と治療法の選択	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 甲状腺疾患検査の理解と治療法の選択	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 吸引細胞診	[ ]	[ ]
呼吸器疾患の診断・治療の理解		
<input type="checkbox"/> 肺炎（院外感染）	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 肺炎（院内感染）	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 肺結核	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 肺真菌症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 喘息	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 慢性気管支炎	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> びまん性汎細気管支炎	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 肺気腫	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> じん肺症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 間質性肺炎	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 特発性器質化肺炎（BOOP）	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 好酸球性肺炎	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 過敏性肺臓炎	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 膠原病肺	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 原発性肺癌	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 転移性肺腫瘍	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 誤嚥性肺炎	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 成人呼吸促進症候群	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 原発性肺高血圧症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 膿胸	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 気胸	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 胸膜腫瘍	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 縦隔腫瘍	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 縦隔気腫	[ ]	[ ]
肝・胆・膵疾患の診断・治療の理解		
<input type="checkbox"/> 急性肝炎	[ ]	[ ]



- 循環器疾患の合併症としての糖尿病 [ ] [ ]
- 循環器疾患の合併症としての高脂血症 [ ] [ ]
- 循環器疾患の合併症としての腎不全 [ ] [ ]

〔身体診察〕患者の基本的な身体診察の理解

- 血圧（上肢）の測定 [ ] [ ]
- 血圧（下肢）の測定 [ ] [ ]
- 脈拍の測定 [ ] [ ]
- 胸部の視診、打診 [ ] [ ]
- 胸部の聴診 [ ] [ ]
- 心音、心雑音の正しい聴診 [ ] [ ]
- 末梢動脈（頸部を含む）と腹部動脈の触診 [ ] [ ]
- 末梢動脈（頸部を含む）と腹部動脈の血管雑音の聴診 [ ] [ ]

〔医療面接〕の理解

- 礼儀正しい患者（家族）への接し方 [ ] [ ]
- プライバシーへの配慮をし、患者（家族）との信頼関係の形成 [ ] [ ]
- 医療面接における基本的コミュニケーション技法の実践 [ ] [ ]
- 病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、システムレビュー）の実践 [ ] [ ]

小児科

- 気管支喘息の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 細気管支炎の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 肺炎、気管支炎の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 突発疹（外来）の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 細菌性腸炎の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 腸かぜ（ロタウイルス等）の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 扁桃炎の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- インフルエンザの診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 伝染性疾患（水痘、ムンプス、手足口病、麻疹、風疹、ヘルパンギーナ、りんご病）（外来）の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- アセトン血性嘔吐症の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 髄膜炎の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 熱性痙攣の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- てんかんの診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 川崎病の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 尿路感染症の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 水腎症の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- ネフローゼ症候群の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- クレチン症（外来）の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 新生児黄疸の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 帝王切開症候群（一過性多呼吸症候群）の診断・治療の理解 [ ] [ ]
- 低血糖児の診断・治療の理解 [ ] [ ]

- |  |     |     |
|--|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 乳児検診（外来）の診断・治療の理解 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 予防接種（外来）の診断・治療の理解 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 子宮内感染症の診断・治療の理解   | [ ] | [ ] |

## 外科

### 診察

- |                                     |     |     |
|-------------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 腹部診察       | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 肛門診察       | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 乳腺診察       | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 腹痛の鑑別診断    | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 黄疸の鑑別診断    | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 消化管出血の鑑別診断 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 腫瘍の鑑別診断    | [ ] | [ ] |

### 外傷

- |                                  |     |     |
|----------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 消毒法     | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 洗浄法     | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 結紮、縫合法  | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> ドレーン法   | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 頭部外傷管理法 | [ ] | [ ] |

### 熱傷

- |                                 |     |     |
|---------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 重症度評価法 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 初期治療法  | [ ] | [ ] |

### 救急

- |  |     |     |
|--|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 意識レベル判定法        | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 気道確保            | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 血管確保            | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> C P R           | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 血液検査            | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 心電図、X p、C T 読影法 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 胃管挿入法           | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 導尿バルーン挿入法       | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 救急薬剤使用法         | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 胸腔、腹腔ドレナージ法     | [ ] | [ ] |

### 検査

- |                                    |     |     |
|------------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 大腸ファイバー検査 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> ポリペクトミー   | [ ] | [ ] |

### 整形外科

- |  |     |     |
|--|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 慢性関節リウマチの診断・治療の理解 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 変形性関節症の診断・治療の理解   | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 骨粗鬆症の診断・治療の理解     | [ ] | [ ] |

<input type="checkbox"/> 大腿骨頸部骨折の診断・治療の理解	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 脊椎圧迫骨折の診断・治療の理解	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 変形性脊椎症の診断・治療の理解	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 四肢骨折の診断・治療の理解	[ ]	[ ]

産婦人科

婦人科疾患の診断・治療の理解

<input type="checkbox"/> 膣炎	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> クラミジア感染症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 機能性出血	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 頸管ポリープ	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 排卵誘発	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 卵巣過剰刺激症候群（OHSS）	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 子宮筋腫	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 子宮内膜症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 更年期障害	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> ホルモン補充療法（HRT）	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 悪性卵巣腫瘍の化学療法	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 腹式子宮全摘出術	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 広汎性子宮全摘出術	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 子宮体癌の化学療法	[ ]	[ ]

産科疾患の診断・治療・管理の理解

<input type="checkbox"/> 流産	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 切迫流産	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 妊娠悪阻	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 頸管無力症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 妊娠中問題となる感染症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 切迫早産	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 妊娠中毒症	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 妊娠中の出血性疾患	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 陣痛誘発	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 切迫子宮破裂	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 会陰裂傷	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 新生児の異常	[ ]	[ ]

検査・処置の理解

<input type="checkbox"/> 経腹超音波	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 経膣超音波	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 細胞診の採り方	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 腫瘍マーカー	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 基礎体温	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 無月経・稀発月経の内分泌検査	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 排卵時期の推定	[ ]	[ ]

- |                                      |     |     |
|--------------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 胎児胎盤機能検査    | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 骨盤計測（エックス線） | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 帝王切開術       | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 産褥子宮の復古     | [ ] | [ ] |

放射線科

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 日常出くわす画像の読影                      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> MRの基礎：MRの基礎的原理について学び、読影の進め方を理解する | [ ] | [ ] |

リハビリテーション科

- |                                      |     |     |
|--------------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> リハビリ医療の理解   | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> チームアプローチの理解 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 理学療法の理解と見学  | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 作業療法の理解と見学  | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 言語療法の理解と見学  | [ ] | [ ] |

麻酔科

ペインクリニック外来の理解

- |  |     |     |
|--|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 神経ブロック法の意義            | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 疼痛緩和機序の理解             | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 局所麻酔薬の種類とその特徴         | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 局所麻酔薬による合併症と処置        | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 代表的な神経ブロック法の手技見学      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 星状神経筋ブロック             | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 硬膜外ブロック（硬膜外麻酔）        | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> くも膜下ブロック（脊椎麻酔）        | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 各々の解剖、特徴、適応症及び合併症について | [ ] | [ ] |

老人保健施設

- |  |     |     |
|--|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 介護保険制度（P 478～479の内容）の理解 | [ ] | [ ] |
|--|-----|-----|

A. 頻度の高い症候

- |                                    |     |     |
|------------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> ショック      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 急性中毒      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 意識障害      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 全身倦怠感     | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 心肺停止      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 呼吸困難      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 身体機能の低下   | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 不眠        | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 食欲不振      | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 体重減少・るいそう | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 体重増加・肥満   | [ ] | [ ] |

<input type="checkbox"/> 浮腫	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> リンパ節腫脹	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 発疹	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 黄疸	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 発熱	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 認知脳の障害	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 頭痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> めまい	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 失神	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 言語障害	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> けいれん発作	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 視力障害・視野狭窄	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 目の充血	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 聴力障害・耳痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 鼻漏・鼻閉	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 鼻出血	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 嘔声	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 胸痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 動悸	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 咳・痰	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 咽頭痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 誤嚥	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 誤飲	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 嚥下困難	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 吐血・下血	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 嘔気・嘔吐	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 胸やけ	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 腹痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 便通異常	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 肛門・会陰部痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 熱傷	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 外傷	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 褥瘡	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 背部痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 腰痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 関節痛	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 歩行障害	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 四肢のしびれ	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 肉眼的血尿	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 排尿障害（尿失禁・排尿困難）	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 乏尿・尿閉	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 多尿	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 不安	[ ]	[ ]
<input type="checkbox"/> 気分の障害（うつ）	[ ]	[ ]



B. 診察・検査等

- |                                |     |     |
|--------------------------------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 医療面接  | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 身体診察  | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 聴力検査  | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 視力検査  | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 超音波検査 | [ ] | [ ] |

C. 健診などスクリーニング法

- |  |     |     |
|--|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> 特定健診                    | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 成人病検診                   | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 企業健診                    | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> D A S C - 2 1           | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> ロコモ度テスト                 | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> C O P D - p s           | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 睡眠時無呼吸症の早期診断のためのスクリーニング | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> 高齢者総合機能評価               | [ ] | [ ] |
| <input type="checkbox"/> がん検診の二次健診               | [ ] | [ ] |

## ☆介護保険制度

### ▲基本法令 介護保険法 概要

#### ★目的

1. 加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行い、国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る。
2. 保険給付は、要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態の予防に資するよう行われるとともに、医療との連携に十分に配慮して行わなければならない。
3. 保険給付は、被保険者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者又は施設から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行われなければならない。
4. 保険給付の内容及び水準は、被保険者が要介護状態となった場合においても、可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮されなければならない。

#### ★国民の努力及び義務

- 1 国民は常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努める。
- 2 国民は、共同連帯の理念に基づき、介護保険事業に要する費用を公平に負担する。

#### ★保険者

市町村及び特別区

#### ★被保険者

市町村の区域内に住所を有する 六十五歳以上の者（第一号被保険者）

四十歳以上六十五歳未満の医療保険加入者（第二号被保険者）

#### ★要介護者

1. 要介護状態にある六十五歳以上の者
2. 要介護状態にある四十歳以上六十五歳未満の者で、その要介護状態の原因である身体上又は精神上的の障害が加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病が政令で定めるもの（特定疾病）によって生じたものであるもの

筋萎縮性側索硬化症 後縦靭帯骨化症 骨折を伴う骨粗鬆症 初老期における認知症 脊髄小脳変性症 脊柱管狭窄症 早老症 糖尿病性神経障害 糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症 脳血管疾患 パーキンソン病 閉塞性動脈硬化症 関節リウマチ 慢性閉塞性肺疾患 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症 進行性核上性麻痺 大脳皮質基底核変性症 末期がん 多系統萎縮症

#### ★要支援者

1. 要介護状態となるおそれがある状態にある六十五歳以上の者
2. 要介護状態となるおそれがある状態にある四十歳以上六十五歳未満の者であって、その要介護状態となるおそれがある状態の原因である身体上又は精神上的の障害が特定疾病によって生じたものであるもの

#### ★サービス

居宅サービス 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護及び福祉用具貸与、居宅介護支援。

施設サービス 介護老人福祉施設、介護老人保健施設及び介護療養型医療施設。

地域密着型サービス 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護。

## ★介護認定審査会

被保険者が要介護状態に該当することの審査及び判定等（審査判定業務）を行う。委員は、要介護者等の保健、医療又は福祉に関する学識経験を有する者のうちから、市町村長が任命。

## ★保険給付

1. 被保険者の要介護状態に関する保険給付（介護給付）
2. 被保険者の要介護状態となるおそれがある状態に関する保険給付（予防給付）
3. その他、要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資する保険給付として条例で定めるもの（市町村特別給付）

## ★市町村の認定

介護給付、予防給付を受けようとする被保険者は、要介護者、要支援者に該当することについて、市町村の認定（要介護・支援認定）を受けなければならない。

## ★保険給付の制限

### ★費用の負担

国、都道府県、市町村、被保険者、医療保険者。

### ★保険料

第一号被保険者は市町村が徴収する。

第二号被保険者は医療保険の保険料と一括して徴収されます

### ★関係職種

### ★老人保健施設と通所サービスの実際

### ☆義肢、装具

#### ★義肢

切断者、欠損者に装着して失われた手足の機能と形態を代用

#### ★装具

身体の一部を固定、支持して変形予防、矯正、機能の代用

### ★その他の福祉用具

治療関連用具、パーソナルケア関連用具、移動機器、家事用具、家具建具建築設備、コミュニケーション関連用具、操作用具、環境改善作業用具、レクリエーション用具

### ★公的給付

医療保険 労災 年金（一部） 身体障害者福祉法 児童福祉法 戦疾病者援護 生保

### ★補装具

### ★日常生活用具

### ★義肢装具の処方と作成の実際

兵庫医科大学ささやま医療センター案内図

・所在地

〒669-2321

兵庫県丹波篠山市黒岡5番地

(ささやま医療センター) ・ (リハビリテーションセンター) ☎079-552-7323

※夜間・休日 ☎079-552-1181

〒669-2321

兵庫県丹波篠山市黒岡36番地

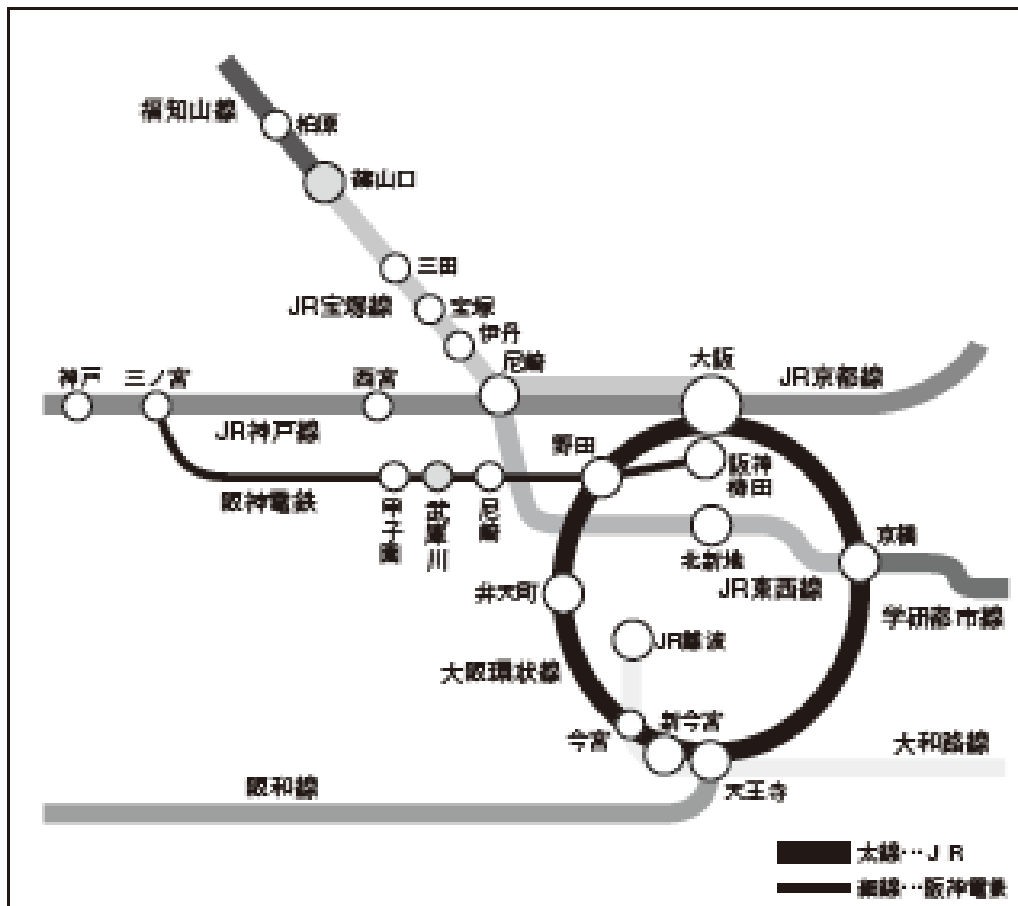
(ささやま老人保健施設)

☎079-552-6840

(ささやま居宅介護支援事業所)

☎079-552-3519

・交通案内図



○ JR福知山線〔宝塚線〕

普通 篠山口行 大阪6:09→尼崎6:15→宝塚6:38→篠山口7:24

丹波路快速 福知山行 大阪6:43→尼崎6:53→宝塚7:14→篠山口7:56

(2021年9月現在) ※乗車日の時刻表を各自確認すること。

○ JR篠山口駅下車 西口より神姫バスで約15分 二階町停留所下車

# ささやま医療センター フロア案内図



-  消火散水栓
-  消火器
-  AED
-  除細動器 (DC)

AED

1F

サービス玄関

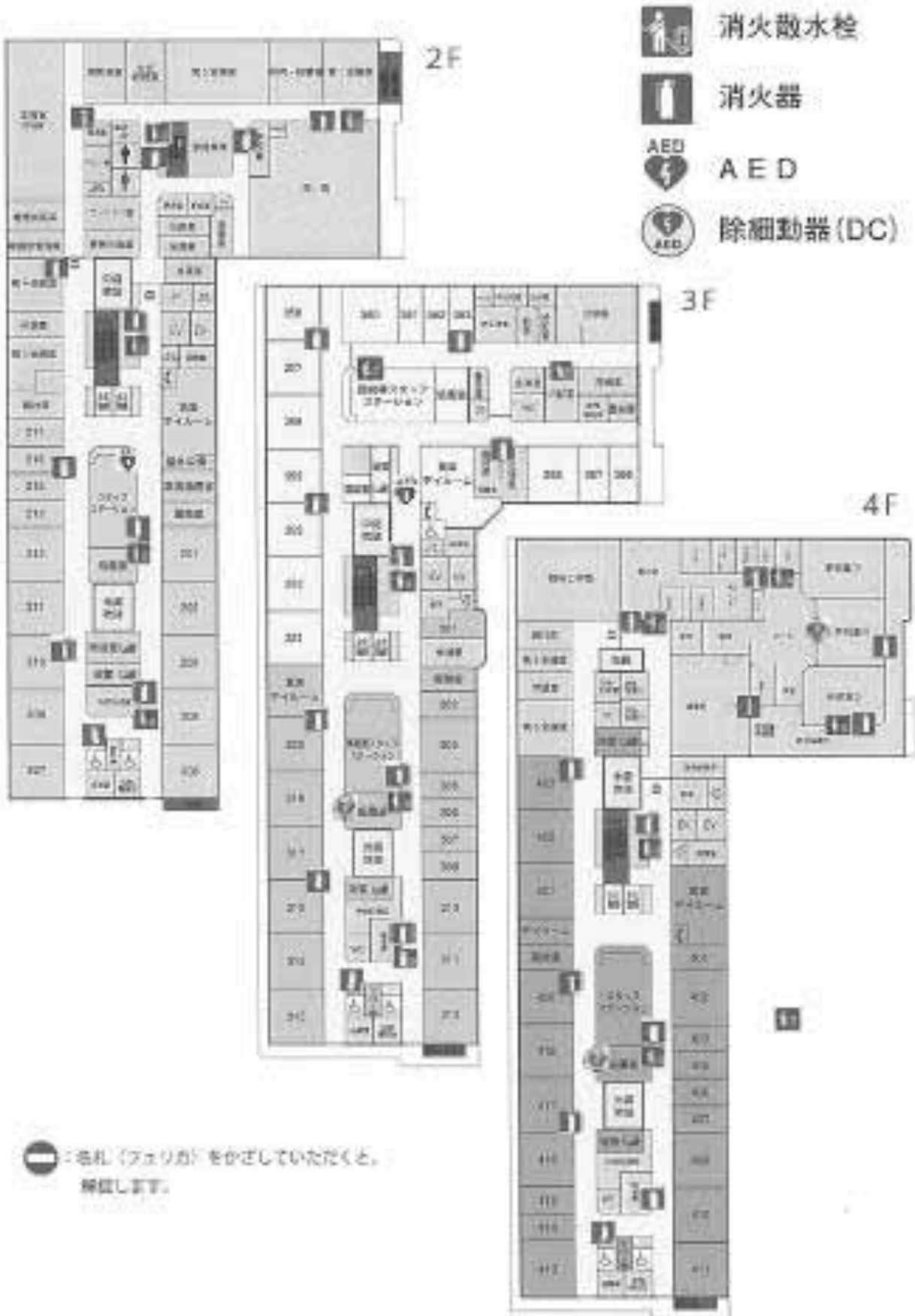
ささやま  
老人保健施設へ

リハビリテーションセンターへ



時間外出入口

救急入口



# リハビリテーション センター



消火散水栓



消火器



AED



除細動器 (DC)



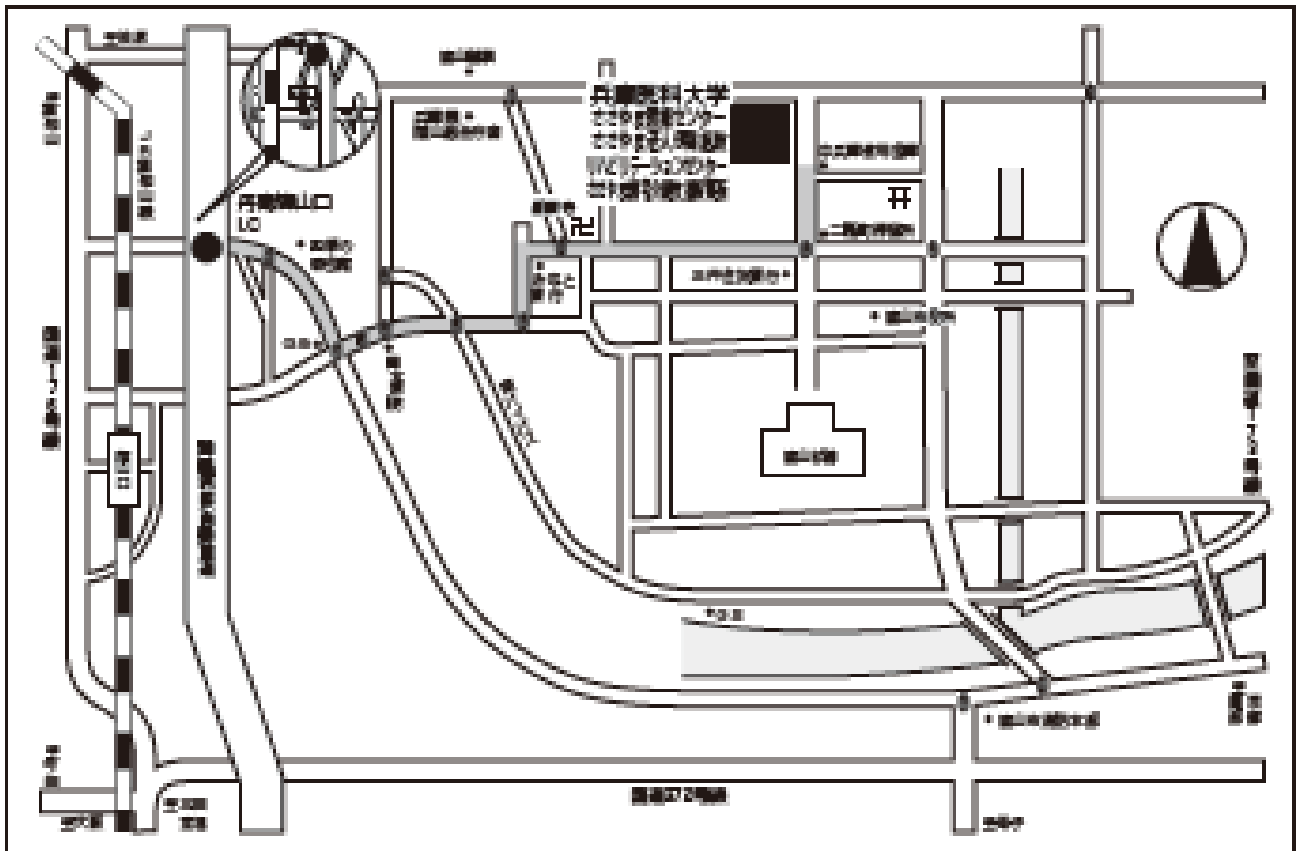
篠山キャンパス内除細動器/AEDの設置場所一覧

階	AED	除細動器 (DC)
4F	—	手術室 4Fスタッフステーション
3F	3F西デイルーム	3F東スタッフステーション
2F	2Fスタッフステーション	—
1F	薬剤室前 老人保健施設	17処置室 心電図室(臨床検査室) 血管造影室(放射線室) リハビリテーションセンター





・周辺図



- J R 篠山口駅 からバス約15分「二階町」下車北へ徒歩5分
- J R 篠山口駅 からタクシー約15分
- 舞鶴自動車道丹南篠山口 I.C. から車で約15分



 **HYOGO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL**

2023年度

**兵庫医科大学病院臨床研修医  
募集案内**



病院長

阪上 雅史

当院はコロナ2年目の2021年も普段の年と変わらず56万人の外来患者さんと28万人の入院患者さんを診療し、1万件以上の手術を行いました。研修プログラムでは、先輩医師の温かい指導のもとプライマリケアや基本的診察能力を習得するとともに、特定機能病院における最先端の診断・治療技術を学んでいただきます。また、「患者さんを自分の親と思っって治療しなさい」と常日頃から指導しております。当院は重点医療機関としてCOVID-19感染にも多職種連携one teamで対応し、EICUで重症患者を180名以上、感染症外来で2700名以上を診療治療しましたので、感染対策も学んでいただけます。医師・看護師・薬剤師・技師・事務などによる多職種連携チーム医療は阪神淡路大震災（1995年）以来の当院の伝統であります。是非、当院の医療チームに加わり自らを成長させて下さい。皆さんと一緒に仕事ができる日を心待ちにしております。



副院長

研修管理委員長

臨床教育統括センター長

池内 浩基

当院のプログラムは基本プログラム以外に、各領域の専門医を早く取得できるように多くのプログラムを用意しています。文京都市西宮は神戸と大阪の中間に位置し、交通の便も非常に良いことから、多くの患者さんに受診していただいています。ささやま医療センターでのプライマリケアから大病院での最先端の医学知識まで十分に学べると思っています。思い出に残る研修医生活を当院でスタートしてください。



卒業研修室長

臨床教育統括副センター長

平野 公通

初期臨床研修の2年間は長い医師人生の中でも最も大事な期間です。当院の研修でプライマリケアを学び、基本的診療能力を身につけるとともに、大病院ならではの高度先進医療も存分に学んでいただけます。円滑で充実した研修が送れるよう臨床教育統括センターが支援いたします。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。



# 2023年度採用臨床研修医募集要項

(マッチング対象プログラム)

## 募集人数

基本プログラム 34名  
小児科重点プログラム 2名  
産婦人科重点プログラム 2名  
外科専門医取得プログラム 2名  
たすきがけプログラム 2名  
協力的研修病院・大学プログラム 13名

## 応募資格

2023年医師国家試験の受験予定者  
2022年医師国家試験合格者で臨床研修未実施の者  
各都道府県の地域枠推薦入学者または各大学の奨学金等で研修プログラムの指定がある方は、各都道府県や大学に確認の上で申し込みをして下さい。

## 研修場所

兵庫医科大学病院、他協力的臨床研修病院、研修協力施設

## 募集期間

2022年6月1日(水)～6月30日(木)16時45分  
郵送の場合は6月30日(木)必着

## 提出書類

応募申込書1通(所定)  
受験票・名票1通(所定)  
成績証明書1通(他大学出身者のみ提出)  
返信用封筒(長3号、84円切手貼付のもの)  
は当院ホームページからダウンロードしてください。

## 試験日

2022年7月30日(土)、2022年7月31日(日)のいずれか1日

## 選考方法

筆記試験(小論文)、面接(学業成績を含む)



詳細は病院HPをご確認ください。

## 待遇

本院：月額30万円(交通費を含む)  
別途宿日直手当1回1万円(2021年度実績)  
日本私立学校振興・共済事業団(健康保険・年金等)  
労働災害保険加入  
たすきがけプログラム、協力的研修病院・大学プログラムに  
おける1年次の処遇：配属先病院の処遇を適用

# 2023年度採用臨床研修医募集要項

(マッチング対象外プログラム)

## 募集人数

基礎研究医プログラム 1名

## 応募資格

2023年医師国家試験の受験予定者  
2022年医師国家試験合格者で臨床研修未実施の者  
各都道府県の地域枠推薦入学者または各大学の奨学金等で研修プログラムの指定がある方は、各都道府県や大学に確認の上で申し込みをして下さい。  
当プログラムに採用が確定した場合には、医師臨床研修マッチングには参加できません。

## 研修場所

兵庫医科大学病院、他協力的臨床研修病院、研修協力施設

## 募集期間

2022年4月1日(金)～4月22日(金)16時45分  
郵送の場合は4月22日(金)必着

## 提出書類

応募申込書1通(所定)  
受験票・名票1通(所定)  
成績証明書1通(他大学出身者のみ提出)  
返信用封筒(長3号、切手貼付のもの)  
は当院ホームページからダウンロードしてください。

## 試験日

2022年5月21日(土)

## 選考方法

筆記試験(小論文)、面接(学業成績を含む)

## 問い合わせ先

兵庫医科大学病院 卒後研修室  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
電話 0798-45-6830(直通)  
メールアドレス sotugo@hyo-med.ac.jp  
交通機関 阪神電鉄 武庫川駅 西へ徒歩5分

# 2023年度プログラム紹介

兵庫医科大学病院では2021年度より内科6ヶ月、救急3ヶ月、外科2ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月、地域医療2ヶ月(うち1ヶ月は一般外来 必修とします)。なお、救急科研修3ヶ月のうち、1ヶ月については麻酔科研修に変更することが出来ます。

## 基本プログラム 定員 34名

最低限の必修科のみを設け、それ以外の期間は研修医の志向に応じて自由に研修先を選択できるプログラムです。

1年目		2年目	
内科(6ヶ月)	救急科(3ヶ月)	外科(2ヶ月)	小児科産婦人科精神科(1ヶ月)(1ヶ月)(1ヶ月)
		地域医療(2ヶ月)	地域医療(2ヶ月)
			選択科(8ヶ月)

## 小児科重点プログラム 定員 2名

小児科での研修期間を長くっており、将来この科に進みたいという志望がある程度決まっている人向けのプログラムです。

1年目		2年目	
小児科(4ヶ月)	内科(6ヶ月)	外科(2ヶ月)	救急科(3ヶ月)
		地域医療(2ヶ月)	産婦人科精神科(1ヶ月)(1ヶ月)
			選択科(5ヶ月)

## 産婦人科重点プログラム 定員 2名

産婦人科での研修期間を長くっており、将来この科に進みたいという志望がある程度決まっている人向けのプログラムです。

1年目		2年目	
産婦人科(3ヶ月)	内科(6ヶ月)	救急科(3ヶ月)	小児科(2ヶ月)
		地域医療(2ヶ月)	外科(2ヶ月)
			産婦人科NICUを含む(1ヶ月)
			選択科(4ヶ月)

## 外科専門医取得プログラム 定員 2名

外科専門医取得プログラムは、3年目以降の専門研修期間も含めて、最短期間での外科専門医取得を目指す将来外科に進むことを決めている方向向けのプログラムです。

1年目		2年目	
内科(6ヶ月)	救急科(3ヶ月)	小児科産婦人科精神科(1ヶ月)(1ヶ月)(1ヶ月)	地域医療(2ヶ月)
			外科(10ヶ月)

## たすきがけプログラム 定員 2名

1年目にへき地医療拠点病院(兵庫医科大学ささやま医療センター、公立八鹿病院、公立赤粟総合病院、西脇市立西脇病院、兵庫県立はりま姫路総合医療センター)のいずれかで研修を行い、2年目は主に兵庫医科大学病院で研修を行います。市中病院と大学病院の良い点を組み合わせたプログラムです。

1年目		2年目	
内科(6ヶ月)	救急科(3ヶ月)	必修科・選択科(3ヶ月)	地域医療(1ヶ月)
		必修科・選択科(8ヶ月)	精神科(1ヶ月)



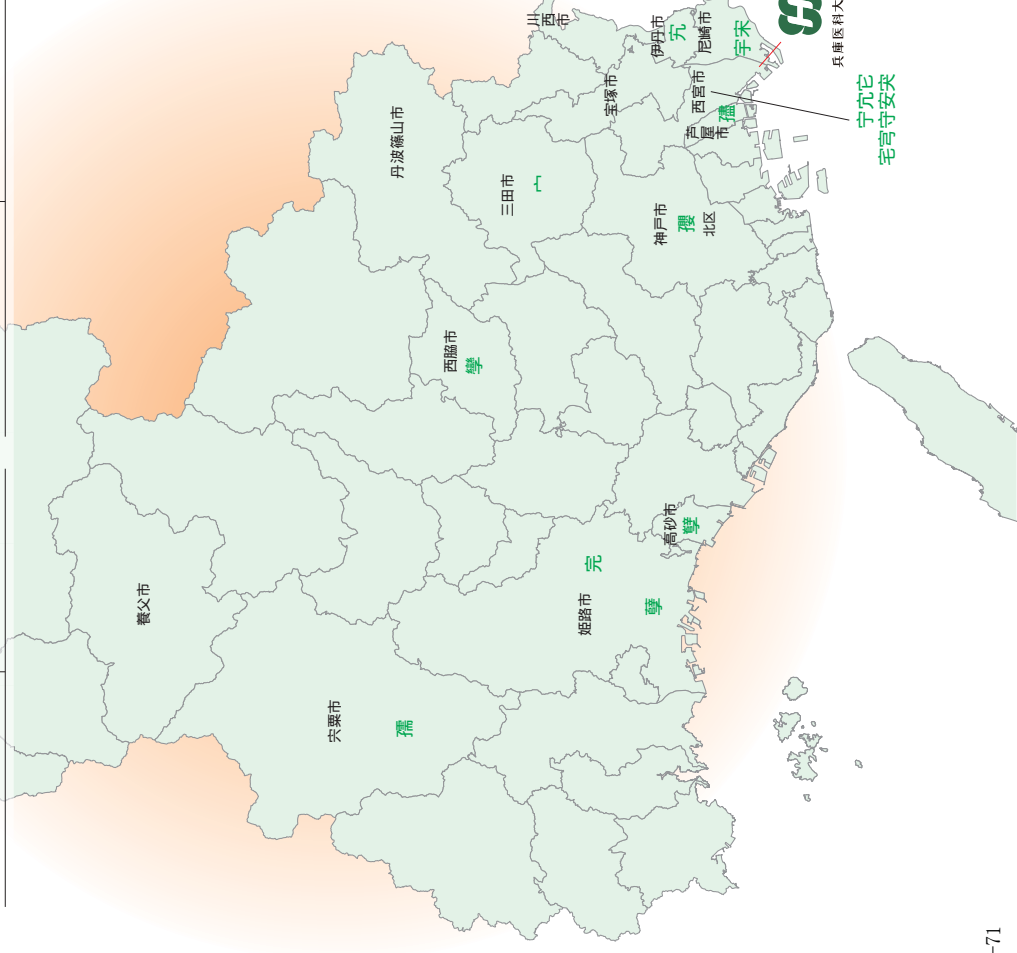
詳細は病院HPをご確認ください。



各診療科の紹介はこちら。

## 兵庫医科大学病院臨床研修病院群(2023年度)

施設名	住所	施設名	住所
ささやま医療センター	丹波篠山市黒岡5	學 西脇市立西脇病院	西脇市下戸田652-1
宝塚市立病院	宝塚市小浜4丁目5-1	三田市民病院	三田市やき台3丁目1-1
尼崎中央病院	尼崎市瀬江1丁目12-1	西宮淺辺病院	西宮市室川町10-22
西宮市立中央病院	西宮市林田町8-24	西宮淺辺心臓脳・血管センター	西宮市池田町3-25
関西労災病院	尼崎市福葉荘3丁目1-69	西宮市保健所	西宮市江上町3-26
明和病院	西宮市上鳴尾町4-31	充いたみバラ診療所	伊丹市荒牧6丁目16-2
市立川西病院	川西市栗畦野5丁目21-1	宅宮クリニック	西宮市産所町12-13
ペリタス病院	川西市新田1丁目2-23	宇宮本夙川クリニック	西宮市清水町4-12
公立八鹿病院	養父市八鹿町八鹿1878-1	宇土田医院	尼崎市七松町1丁目3-1
公立赤粟総合病院	赤粟市山崎町鹿沢93	守たにざわこどもクリニック	西宮市和上町1-15
市立芦屋病院	芦屋市朝日ヶ丘町39-1	西宮回生病院	西宮市大浜町1-4
高砂西部病院	高砂市中筋1丁目10-41	上ヶ原病院	西宮市上ヶ原十番町1-85
姫路医療センター	姫路市本町68	末瀬尾クリニック	尼崎市七松町1丁目2-1
神戸アドベントセント病院	神戸市北区有馬台8丁目4-1	完 姫路聖マリア病院	姫路市仁豊野650



1年目		2年目	
協力型研修病院		兵庫医科大学病院	
内科(6ヶ月)	救急科(3ヶ月)	必修科・選択科(3ヶ月)	必修科・選択科(11ヶ月)
地域医療		必修科・選択科(1ヶ月)	

研修1年目は協力型研修病院で研修を行い、研修2年目に兵庫医科大学病院または臨床研修病院群で研修を行います。協力型研修病院では配属先病院のカリキュラムに沿って内科6ヶ月をローテーションし、自由に選択できる期間を6ヶ月とします。

研修2年目の兵庫医科大学病院、臨床研修病院、研修協力施設で地域医療1ヶ月を必修とし、自由に選択できる期間は11ヶ月になります。

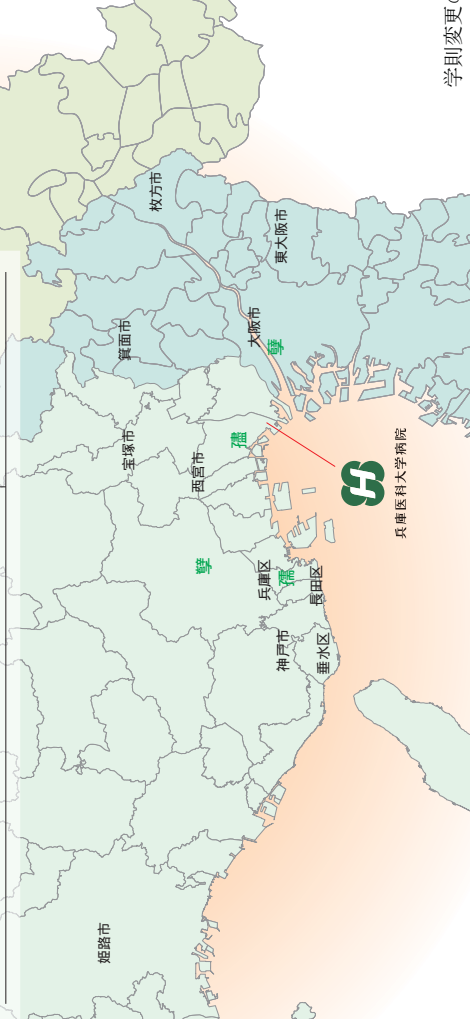
1年目または2年目の選択期間中に必修科として救急部門3ヶ月、外科2ヶ月、産婦人科、小児科、精神科を各1ヶ月研修とします。

研修2年間で市中病院と大学病院両方の医療を経験し、多様な患者に対する臨床技能を習得できるプログラムです。

内科研修は一般外来研修を兼ねています。  
 救急科研修については1年目の研修先の指示に従って下さい。  
 選択科期間中に外科、精神科、小児科、産婦人科を必ず研修します。  
 配属先病院および研修する診療科は、マッチング後に調整の上、決定します。

## 兵庫医科大学病院協力型研修病院群(2023年度)

施設名	住所
宝塚市立病院	宝塚市小浜4丁目5-1
独立行政法人国立病院機構姫路医療センター	姫路市本町68
公益社団法人日本海員協済会 神戸掖済会病院	神戸市垂水区学が丘1丁目21-1
地方独立行政法人 市立東大阪医療センター	東大阪市西宮田3丁目4-5
独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪みなと中央病院	大阪市港区磯路1丁目7-1
独立行政法人愛仁会 千船病院	大阪府西淀川区福町3丁目2-39
独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター	枚方市星丘4丁目8-1
箕面市立病院	箕面市豊野5丁目7-1
地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター西市民病院	神戸市長田区一番町2丁目4
医療法人 川崎病院	神戸市兵庫区東山町3丁目3-1
医療法人 明和病院	西宮市上南町4-31
独立行政法人地域医療機能推進機構 神戸中央病院	神戸市北区鶴山町2丁目1-1
独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	大阪市福富区福富4丁目2-78



### 宝塚市立病院

〒665-0827 宝塚市小浜4丁目5番1号  
 TEL 0797-87-1161 FAX 0797-87-5624

**待遇**

基本給(月額)	160,080円(地域手当を含む)
超過勤務手当	規定に基づき付与
賞与	規定に基づき付与
宿日直手当	規定に基づき付与
通勤手当	規定に基づき付与
住居手当	21,600円(上限額)
年次有給休暇	21日/年
その他休暇	夏季休暇5日/年(令和元年度実績) その他規定に基づき各種取得

**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:30～17:00)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日  
 休曜日 土曜日・日曜日・祝日  
 研修・日雇(土曜)3～7回(2019年度実績)

### 公益社団法人日本海員協済会 神戸掖済会病院

〒655-0004 神戸市垂水区学が丘1丁目21番1号  
 TEL 078-781-7811 FAX 078-781-1511

**待遇**

基本給(月額)	1年次 320,000円(月額) 2年次 370,000円(月額)
超過勤務手当	賞与 無
宿日直手当	1年次 10,000円/回 2年次 20,000円/回
通勤手当	上限55,000円(当院規定による)
住居手当	上限27,000円(当院規定による)
年次有給休暇	法定通り
その他休暇	夏季休暇・年次年始

**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:30～17:15)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日  
 休曜日 土曜日・日曜日・祝日  
 研修・日雇(土曜)上限6回まで

### 独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪みなと中央病院

〒552-0003 大阪府港区磯路1丁目7-1  
 TEL 06-6572-5721 FAX 06-6573-2531

**待遇**

基本給(月額)	300,000円
超過勤務手当	100,000円
賞与	50,000円(程度 6月、12月)
宿日直手当	21,000円/回
通勤手当	有
住居手当	年間20日
年次有給休暇	特別休暇・病欠休暇
その他休暇	

**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:30～17:15)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日  
 休曜日 土曜日・日曜日・祝日  
 研修・日雇(土曜)月4回程度

### 独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘4丁目8番1号  
 TEL 072-840-2641 FAX 072-840-2266

**待遇**

基本給(月額)	1年次 326,544円 2年次 397,656円
超過勤務手当	無
賞与	1年次 200,000円/年 2年次 300,000円/年
宿日直手当	21,000円/回
通勤手当	有
住居手当	27,000円(本人名義で契約が必要)
年次有給休暇	20日(4月1日採用 15日) その他休暇
その他休暇	

**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:30～17:15)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日・夏休み(3日)  
 休曜日 土曜日・日曜日・祝日  
 研修・日雇(土曜)月6回程度

### 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター

〒670-8520 兵庫県姫路市本町68番地  
 TEL 079-225-3211 FAX 079-223-8310

**待遇**

基本給(月額)	363,000円
超過勤務手当	有
賞与	有
宿日直手当	有 月2～3回程度
通勤手当	有
住居手当	無
年次有給休暇	20日/年度
その他休暇	病欠休暇等

**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:30～16:30)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日、及び年末年始  
 休曜日 土曜日・日曜日(回数)月2～3回程度  
 研修・日雇(土曜)月2～3回程度

### 市立東大阪医療センター

〒578-8588 大阪府東大阪市西宮田3丁目4番5号  
 TEL 06-6781-5101 FAX 06-6781-2194

**待遇**

基本給(月額)	給料:1年次 243,200円 初任給調整手当:1年次 25,120円
超過勤務手当	有
賞与	有 4.3ヶ月(年)但し調整2.25ヶ月(年)
宿日直手当	無 17時～8時半は急日の前日出勤
通勤手当	0時～8時半は急日の前日出勤
住居手当	法人職員に限り支給
年次有給休暇	本人名義賃貸の場合 上限24,500円/月 採用時から6ヶ月まで 5日、6ヶ月経過後 5日
その他休暇	WLB促進休暇 7日/年、他特別休暇

**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:30～17:00)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日  
 休曜日 土曜日・日曜日・祝日  
 研修・日雇(土曜)月4回程度

### 社会医療法人 愛仁会 千船病院

〒555-0034 大阪府西淀川区福町3丁目2番39号  
 TEL 06-6471-9541 FAX 06-6474-0069

**待遇**

基本給(月額)	250,000円
超過勤務手当	有
賞与	有
宿日直手当	有
通勤手当	無
住居手当	無
年次有給休暇	12日
その他休暇	慶弔休暇

**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:30～17:00)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日  
 休曜日 土曜日・日曜日・祝日  
 研修・日雇(土曜)4回/月程度

### 箕面市立病院

〒562-0014 大阪府箕面市豊野5丁目7-1  
 TEL 072-728-2001 FAX 072-728-8232

**待遇**

基本給(月額)	1年次 280,200円 2年次 288,600円
超過勤務手当	有
賞与	有 令和元年度実績(4.5ヶ月分)
宿日直手当	1年次 23,000円/回 2年次 69,000円/回
通勤手当	有
住居手当	27,000円 年次有給休暇 20日
年次有給休暇	27,000円 令和元年度実績7日
その他休暇	夏休み(条件による) 特別休暇 結婚休暇、産前産後休暇、親族死亡休暇など)

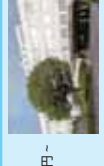
**研修内容**  
 月曜日～金曜日(8:45～17:15)  
 勤務日 土曜日・日曜日・祝日  
 休曜日 土曜日・日曜日・祝日  
 研修・日雇(土曜)月4回程度

**地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター-西市民病院**  
〒653-0013 神戸市長田区一番町2丁目4番地  
TEL 078 576 5251 FAX 078 576 5358



**待遇**  
基本給(月額) 262,000円  
実績による  
超過勤務手当 年額約750,000円  
賞与 実績による  
宿日直手当 最高55,000円まで  
通勤手当 50,000円(ただし支給要件有)  
住居手当 20日  
年次有給休暇 リフレッシュ休暇5日、結婚・忌服休暇 等  
その他休暇  
**研修内容**  
月曜日～金曜日(8:45～17:30)  
休務日 土曜日・日曜日・祝日  
宿直(日直・土直(回数)月4～5回程度)

**明和病院**  
〒663-8186 兵庫県西宮市上鳴尾町4番31号  
TEL 0798-47-1964 FAX 0798-47-7613



**待遇**  
基本給(月額) 350,000円  
有 賞与 年200,000円～  
超過勤務手当 平日:14,000円  
宿日直手当 土曜日:21,000円  
日祝(半日)14,000円  
基本給金に加えて建費に別添した期間分の超過勤務手当を支給  
通勤手当 上層50,000円/月(入職者はなし)  
住居手当 有 世帯主に生活支援手当として19,000円/人/月  
年次有給休暇 入職と同時に10日付与  
その他休暇 四季休暇:6日 ★モリアル休暇:1日  
**研修内容**  
月曜日～金曜日(8:30～17:00)、土曜日(8:30～12:30)・2回/月  
勤務日 日曜日・法に規定された休日及び月3回の土曜日  
休務日 土曜日・4回(取替)  
宿直(日直・土直(回数)月4回程度)

**独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院**  
〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4-2-78  
TEL 06-6441-5454(代表) FAX 06-6445-8900



**待遇**  
基本給(月額) 1年目基本給217,940円・地城手当34,870円、  
2年目基本給239,140円・地城手当38,282円  
実績に応じ月当たり80時間を上乗せして申請可  
超過勤務手当 (ただし、外研修期間中は越勤対象外)  
賞与 無  
宿日直手当 有  
通勤手当 無  
住居手当 運動距離2キロメートル未満の者を除く、公共交通機関や  
運動用車の利用を例外とする者に支給(規定(内規)に基づき上乗せあり)  
年次有給休暇 初年は、4月1日(入職日)に15日付与  
その他休暇 特別休暇、病欠休暇  
**研修内容**  
月曜日～金曜日(8:30～17:45)  
休務日 土曜日・日曜日・祝日  
宿直(日直・土直(回数)月4回程度)【ただし、1年目は調直のみ(17:30～23:30)月2回程度】

**医療法人 川崎病院**  
〒652-0042 神戸市兵庫区東山町3丁目3番1号  
TEL 078-511-3131 FAX 078-511-3138



**待遇**  
基本給(月額) 350,000円  
超過勤務手当 1日1回3,500円  
賞与 2回 1回目50,000円  
2回目150,000円  
宿日直手当 当直・日直1回10,000円(増額予定) 2次救急当直日は加算有  
通勤手当 当院から1.5km以上は支給  
住居手当 賃料から本人負担分(30,000円)を引いた額を病院が支払う  
年次有給休暇 6か月後10日付与 その他休暇 慶弔休暇  
**研修内容**  
月曜日～金曜日(8:30～17:00)、土曜日(8:30～12:40)月3回休み  
休務日 土曜日(月3回)・日曜日・祝日  
宿直(日直・土直(回数)月4回程度)

**独立行政法人地域医療機能推進機構 神戸中央病院**  
〒651-1145 兵庫県神戸市北区鞆山町2丁目1番1号  
TEL 078-594-2211 FAX 078-594-2244



**待遇**  
基本給(月額) 1年次:360,000円  
(医師手当・地城手当含む)  
2年次:375,000円  
(医師手当・地城手当含む)  
超過勤務手当 無 賞与 有  
宿日直手当 無 実有 有  
通勤手当 1年次:10,500円/回、  
2年次:21,000円/回  
住居手当 規定により支給 住居手当 無  
年次有給休暇 20日 その他休暇 夏季休暇など  
**研修内容**  
月曜日～金曜日(8:30～17:00)  
休務日 土曜日・日曜日・祝日  
宿直(日直・土直(回数)月4回程度/月)

基礎医学プログラム 定員1名

1 年 目		2 年 目	
内科 (6ヶ月)	救急科 (3ヶ月)	小児科 (1ヶ月)	産科 (1ヶ月)
精神科	地域医療	外科	選択科 (2ヶ月)
基礎医学研究 (6ヶ月)			

プログラム開始時に、所属する基礎医学系の教室を決定し、オリエンテーションを行います。

将来基礎研究医を目指す医師に対して、初期臨床研修より基礎医学教室配属期間を設けたプログラムです。基礎系の教室を通じて基礎医学研究歴7年以上の複数の医師が指導できるキャリア支援体制が確保されており、すべての基礎系研究室は論文指導を行う環境及び学会発表の機会が用意されています。基礎医学研修を開始する前に、プログラム責任者による臨床研修の到達目標の到達度の評価を行います。臨床研修後4年以内を目処に、作成した基礎医学の論文を研修管理委員会に提出します。

当該プログラム修了者で、本学大学院修了者は特任助教として採用し、研究をサポートすることも可能です。特任助教へのキャリアパスとしては、下記の4コースがあります。(予定)

- 1) 初期臨床研修(基礎研究医プログラム) 大学院 特任助教
- 2) 初期臨床研修(基礎研究医プログラム) 大学院 海外 国内 留学 特任助教
- 3) 初期臨床研修(基礎研究医プログラム+夜間大学院) 後期研修(夜間大学院) 特任助教(夜間大学院は初期臨床研修1年目または2年目から入学)
- 4) 初期臨床研修(基礎研究医プログラム) 後期研修 大学院 特任助教

なお、特任助教の所属は原則として本学基礎医学講座、基礎・臨床連携講座、先端医学研究所とします。臨床講座に所属する場合は、上記講座との共同研究に基づき基礎的研究とします。兵庫医科大学では医学部において研究医種運用を開始しており、2020年2名の研究医種の研修医を兵庫医科大学病院で採用しました。うち1名は本年研修1年目より夜間大学院に入学している実績を有します。

**【基礎医学講座紹介】**

- 解剖学(細胞生物部門)
- 解剖学(神経科学部門)
- 生理学(生体機能部門)
- 生化学
- 病原微生物学
- 免疫学
- 公衆衛生学
- 環境予防医学
- 法医学
- 遺伝学
- 病理学(分子病理部門)



各基礎医学講座の詳細はこちら。





## 脇本 謙

2021年度入職  
川崎医科大学卒業  
産婦人科重点プログラム  
希望進路：産婦人科

### 研修計画

【1年目】  
4月～6月 …… 産科婦人科  
7月～8月 …… 脳神経内科  
9月～10月 …… ささやま医療センター(救急科)  
11月～12月 …… ささやま医療センター(内科)  
1月～2月 …… 糖尿病・内分泌・代謝内科  
3月 …… 麻酔科・疼痛制御科

【2年目】  
4月 …… 麻酔科・疼痛制御科  
5月 …… 乳腺・内分泌外科  
6月 …… 小児外科  
7月 …… 精神神経科  
8月～9月 …… 小児科  
10月 …… 産科婦人科  
11月～12月 …… 地域医療(神戸アドベントスト病院)  
1月～3月 …… 神戸アドベントスト病院(産婦人科)

## 研修先に兵庫医科大学病院を選んだ理由は？

兵庫医科大学の産婦人科重点プログラムは、産婦人科の長期間の研修、さらに小児科の研修がプログラムに含まれている点が非常に魅力的でした。また自由に研修診療科を4ヶ月も選択可能なことも良かったです。  
更に電車で大塚駅から20分で車で阪神高速の下り口すぐのところにある病院があり交通の便もよく当院を選びました。

## 兵庫医科大学病院での研修の魅力・特徴を教えてください。

兵庫医科大学は様々な病院と連携しており、連携先の市中病院での研修が可能で、地域医療も産婦人科の研修が可能な地域医療病院もあり、兵庫医科大学病院以外に様々な研修先を選べるのが魅力でした。大学病院ではリスクの高い症例、市中病院ではcommon diseaseを学べ非常に有意義な研修ができると感じました。

## 学生の皆さんへメッセージ

兵庫医科大学病院での研修は非常に研修カリキュラムが豊富で自由度が高い研修病院施設です。連携している市中病院にも研修できますし、地域医療で産婦人科の研修ができるのも魅力です。是非兵庫医科大学病院で研修されることをお勧めしますので一度見学に来てください。



## 研修先を選ぶ際に重視したことを教えてください。

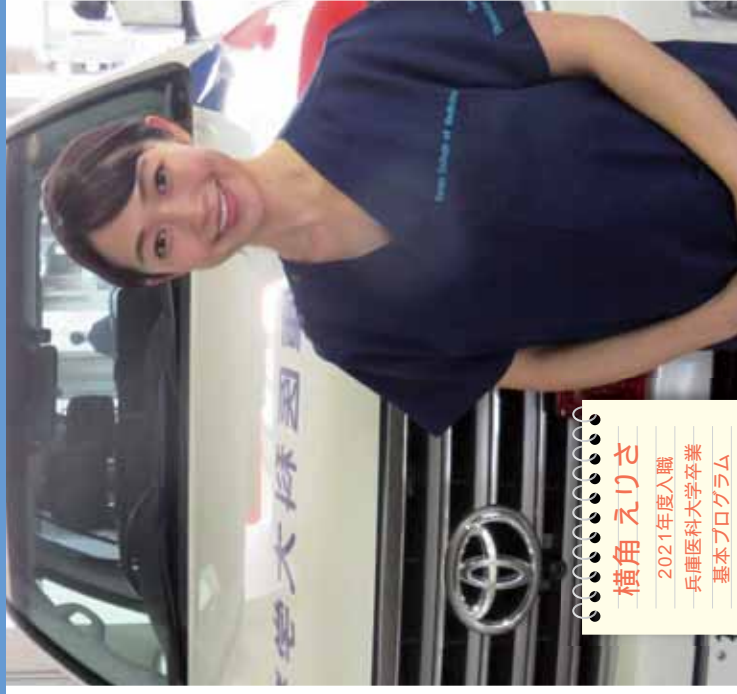
症例数が多くしっかりと研修できること。また、私はすでに子どもがいるので、研修と育児を両立できることを重視しました。

## 兵庫医科大学病院での研修の魅力・特徴を教えてください。

指導体制がしっかりとれているので安心して手技、診察の方法を習得していくことができます。また研修医同士も仲が良く、切磋琢磨しながら成長できるところが魅力です。

## 学生の皆さんへメッセージ

兵庫医大には、出身校も年齢も様々な研修医がいます。研修センターは非常に手厚いサポートをしてくださるので研修に集中することができます。ぜひ一緒に学び、働きましょう。



## 横角 えりさ

2021年度入職  
兵庫医科大学卒業  
基本プログラム  
希望進路：未定

### 研修計画

【1年目】  
4月～5月 …… 消化管内科  
6月～7月 …… 糖尿病・内分泌・代謝内科  
8月～9月 …… 麻酔科・疼痛制御科  
10月～11月 …… 脳神経内科  
12月～1月 …… 下部消化管外科  
2月～3月 …… 救命救急センター

【2年目】  
4月 …… 精神科神経科  
5月 …… 産科婦人科  
6月 …… 皮膚科  
7月 …… 小児科  
8月 …… 糖尿病・内分泌・代謝内科  
9月 …… リハビリテーション科  
10月～11月 …… 地域医療(西宮回生病院)  
12月 …… 臨床検査科  
1月 …… 精神科神経科  
2月 …… 西宮渡辺心臓脳・血管センター(麻酔科)  
3月 …… 超音波センター







# 病院概要・特色

1972年4月の開設以来、医学教育機関として、また、阪神地区の基幹病院として、その責務にふさわしいスタッフと最新の医療施設・機器を備え、周辺の医療機関との連携を図りながら、常に質の高い医療を提供しています。

## 概要

名称 兵庫医科大学病院  
所在地 兵庫県西宮市武庫川町1番1号  
開設年月日 1972(昭和47)年4月1日  
標榜診療科目



詳細はこちら。

内科	脳神経外科	頭頸部外科
循環器内科	小児科	産婦人科
呼吸器内科	整形外科	眼科
消化器内科	呼吸器外科	放射線科
血液内科	心臓血管外科	放射線治療科
内分泌・代謝内科	皮膚科	麻酔科
糖尿病内科	泌尿器科	歯科
脳神経内科	外科	歯科口腔外科
肝臓・胆のう・膵臓内科	消化器外科	リハビリテーション科
腎臓・人工透析内科	乳腺・内分泌外科	救急科
リウマチ科	小児外科	ペインクリニック・疼痛緩和外科
アレルギー科	形成外科	臨床検査科
腫瘍内科	美容外科	病理診断科
精神科	耳鼻いんこう科	(41標榜診療科) 2018年10月1日に変更

病床数 963床(一般:919床、精神:44床)  
土地・建物 敷地面積:42,494.15㎡ 建物面積:延157,893.18㎡

## 拠点病院指定状況

区分	指定等の年月
特定機能病院の承認	1994年3月
災害拠点病院に指定	1996年10月
阪神南圏地域域リハビリテーション支援センターに指定	2004年4月
兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定	2007年7月
地域がん診療連携拠点病院に指定	2008年2月
肝疾患診療連携拠点病院に指定	2008年4月
兵庫県認知症疾患医療センターに指定	2009年4月
総合周産期母子医療センターに指定	2015年4月
兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定	2018年2月
兵庫県難病診療連携拠点病院に指定	2019年4月
地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定	2020年4月

## 特色

### 急性医療総合センター

2013年災害拠点病院及び特定機能病院として地域に置ける医療拠点の充実を図るため、救急、集中治療、手術部門等を一つの建物に集約するとともに、大規模災害時にも機能し続けることを目指した「急性医療総合センター」がオープンしました。

### 急性期医療を担う高度医療センター

急性医療総合センターには、救命救急センター、手術センター、集中治療センターなど急性期医療の中核をなす施設を集約。10号館をはじめとする既存医療機能とも効果的に接続するなどしながら、より高度な医療を展開していきます。

### 大規模災害時にも機能し続ける医療施設

建物への免震構造の採用や、地階を作らず機械室を最上階に配置するなど、地震や水害・集中豪雨、洪水などの災害時にも機能し続ける医療施設を目指します。

### スタッフのアメニティにも配慮

緊張の続く医療スタッフがくつろぐことのできる専用ラウンジを設けるなど、スタッフのアメニティにも配慮しています。

階	機械室
7F	
6F	周産期センター (NICU・GCU・産科手術室)
5F	アイセンター 手術センター(中央滅菌室)
4F	手術センター
3F	集中治療センター (ICU・ICU&D)
2F	救命救急センター (EICU・CCU・救急病床など)
1F	救命救急センター (ICU・ICU・救急手術室など) 熱傷センター IVRセンター

### 【急性医療総合センター概要】

建築面積 2,516㎡  
延床面積 15,283㎡  
構造 鉄筋コンクリート造  
免震構造 地上7階建  
高さ 35.8m



## 兵庫医科大学臨床教育統括センター

臨床教育統括センターは、病院の中心部である1号館4階にあります。教員(医師)に加えて5名の専任技術職員(看護師4名、理学療法士1名)が在籍し、センター内に併設したコミュニケーションセンターには高機能シミュレーターを含む種々のシミュレーターや多数のトレーニング機器を有しており、医療多職種間のボータレスな教育・研修を受けることができます。



## 兵庫医科大学ささやま医療センター

地域医療の研修病院として兵庫医科大学ささやま医療センターを選択できます。ささやま医療センターは、地域の身近な医療を提供する大学病院という特徴をもち、また、リハビリテーションセンター、老人保健施設、居宅サービスセンターを併設しているため、多様な初期診療を経験できます。研修医・学生用の宿舎を2019年に新築しました。



# 2021年度 兵庫医科大学病院研修医セミナー&実習

研修医のさらなる知識・技能向上を目的として、業務終了後に当院教員による各種セミナー・実習を定期的に開催しています。

### 研修医セミナー

1. 発熱 (総合内科 楠講師)
2. リハビリテーション医療について(リハビリテーション科 児玉講師・内山講師)
3. 腹部CTの読影 (神戸市立医療センター 中央市民病院 放射線診断科 石蔵部長)
4. 止血検査異常の診かた (血液内科 日笠講師)
5. 糖代謝異常 (総合内科 楠講師)
6. 胸痛 (循環器内科 今仲講師)
7. 熱傷の対応 (形成外科 西本教授)
8. 行政医師の働き方紹介~神戸市から~(神戸市行政政局 樋口担当局長)
9. 緊急手術を要する腹部疾患(炎症性腸疾患外科 桑原助教)
10. 腹痛 (医療人育成研修センター 平野卒後研修室長)
11. 抗菌薬選択の考え方 (感染制御部 中嶋准教授)
12. 咳嗽・喀痰 (呼吸器内科 栗林教授)
13. 高血圧 (総合内科 楠講師)
14. 呼吸困難 (呼吸器内科 栗林教授)
15. 血尿・排尿障害 (泌尿器科 山本主任教授)
16. 動悸 (循環器内科 内藤講師)
17. どうする?女性の腹痛 (産科婦人科 福井准教授)
18. 頭痛 (書永病院 頭痛センター 團野副センター長)
19. 小児の虐待疑い例に対する対応(小児科 田中特任講師)
20. 便通異常(下痢、便秘) (医療人育成研修センター 平野卒後研修室長)

### 実習

1. 心エコー実習 「初学者のための心エコーハンズオン」 (循環器内科 合田講師)
2. 縫合実習 (医療人育成研修センター 平野准教授)
3. 医療英会話初級コース
4. CVC実習


講師の所属・肩書は2021年現在

# 専門研修プログラム(後期臨床研修)

初期臨床研修の第一の目的であるブラマイケアに必要な基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につけたのち、それをもとに将来の専門分野を考慮した診療科の選択を行っていただきます。兵庫医科大学病院医療人育成研修センターは、各診療科と協力して初期臨床研修修了者がスムーズに専門医研修(後期研修)へ移行できるようにお手伝いし、基本領域の学会と日本専門医機構から承認を受けた全19領域のプログラムにより、統一した基準で、標準的な医療が提供できる専門医資格の取得をバックアップします。

<b>兵庫医科大学病院 内科専門研修プログラム</b> 【内科】	<b>兵庫医科大学 産婦人科 プログラム</b> 【産婦人科】	<b>兵庫医科大学 泌尿器科 プログラム</b> 【泌尿器科】
循環器内科 血液内科 アレルギー・リウマチ内科 糖尿病・内分泌・代謝内科 肝・胆・膵内科 消化管内科 炎症性腸疾患内科 呼吸器内科 脳神経内科 腎・透析内科	<b>兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 専門研修プログラム</b> 【耳鼻咽喉科】	<b>兵庫医科大学病院 放射線科 専門研修プログラム</b> 【放射線科】
<b>脳神経外科専門研修 兵庫医科大学 プログラム</b> 【脳神経外科】	<b>兵庫医科大学 産婦人科 プログラム</b> 【産婦人科】	<b>地域医療貢献型 兵庫医科大学救急科 専門医研修プログラム</b> 【救急科】
<b>兵庫医科大学 麻酔科専門プログラム</b> 【麻酔科】	<b>兵庫医科大学 産婦人科 プログラム</b> 【産婦人科】	<b>兵庫医科大学病院 リハビリテーション科 専門研修プログラム</b> 【リハビリテーション科】
<b>兵庫医科大学 小児科専門研修プログラム</b> 【小児科】	<b>兵庫医科大学 産婦人科 プログラム</b> 【産婦人科】	<b>兵庫医科大学形成外科 専門研修プログラム</b> 【形成外科】
<b>兵庫医科大学 外科専門研修プログラム</b> 【外科】	<b>兵庫医科大学病院 連携施設精神科 専門医プログラム</b> 【精神科】	<b>兵庫医科大学病院病理 専門研修プログラム</b> 【病理診断科】
肝・胆・膵外科 上部消化管外科 下部消化管外科 炎症性腸疾患外科 乳腺・内分泌外科 小児外科 心臓血管外科 呼吸器外科	<b>兵庫医科大学整形外科 専門研修プログラム</b> 【整形外科】	<b>兵庫医科大学臨床検査 専門研修プログラム</b> 【臨床検査科】
<b>兵庫医科大学病院 皮膚科専門研修プログラム</b> 【皮膚科】	<b>兵庫医科大学眼科領域 専門研修プログラム</b> 【眼科】	<b>兵庫医科大学総合診療 専門医プログラム</b> 【総合診療科】

詳細は病院HPをご確認ください。



# レジデントインタビュー

## 後期研修先に兵庫医科大学病院を選んだ理由は?

### 脳神経外科レジデント



**木下 雅人 医師**

出身大学：藤田医科大学  
初期研修病院：兵庫医科大学病院

症例の多様な病院となりと大学病院が一番であると考えました。特に兵庫医科大学病院は出身大学のある愛知県でも評判が高いことに加えて、現在、新病棟の建設や兵庫医療大学との合併により、臨床現場および研究分野においても益々発展していくことが期待されます。そういった環境こそ、自身を更なる高みへと上らせてくれると思います。兵庫医科大学病院での後期研修を選びました。学生時代に脳神経外科で実習させていただいた際に、医局内の雰囲気やレジデントの教育体制など大変充実していました。全国各地から様々な経歴がある医師が集い、切磋琢磨している環境が決めたいいな学生さんでも大勢いると思います。診療科が細分化された大学病院だからこそやりたいことを見つけてことができ、それを生涯にわたって遂行することができている環境があります。まずは気軽に見学に来てください。そこで上の先生やレジデントの先生の本書の意見も聞いてみてください。実際に「見て・聞いて・感じる」。これ以上に糧になるものはありません。

### 内科レジデント



**荻野 愛可 医師**

出身大学：福岡大学  
初期研修病院：千船病院

将来については、たくさん悩みましたが、まず専門性を高めたいと考えたこと、私が育った地域に根差した医療がなされていることが、兵庫医科大学病院を選んだ理由です。見学した時に女医さんも多く、雰囲気が良いと思いました。実際に入局して、仕事と育児と両立している先生が多く、医局全体に働き方の柔軟性があります。入局して1か月になり、慣れないことや分からないことばかりですが、優しく支えていただいています。興味が少ない方もある人は是非遊びにきてください。将来が決まってゆめがない方もいれば、たくさん悩んでよく分からなくなっている方もいます。悩んでいても仕方ないので、たくさん見学したり話を聞いて直感を信じるのも一つかもしれませんよ！

### 産科婦人科レジデント



**菰池 哲史 医師**

出身大学：愛知医科大学  
初期研修病院：兵庫医科大学病院

前期研修を兵庫医科大学病院でさせていただき、環境を大きく変えずに集中するために、引き続き当院での後期研修を選択しました。当院は診療科が充実していることや、他科の上級医やシステムを知っていることからコンサルト依頼等を判断しやすいと考えました。また、現在の医局が教育に力を入れているため専門医取得やその先のことも相談しやすいと思います。生殖医療にも力を注いでおり、少子化・高年出産が進んでいる社会において重要な立ち位置を担うことが出来るのが魅力の1つです。周産期から婦人科疾患、生殖医療まで幅広く勉強ができ、関連病院も多くあるため経験がたくさん積みめます。まずは国家試験を無事に突破していただき、もし産婦人科に興味があれば当院も前期研修医から回ってみてください。

# 育児支援



## ポポラー武庫川園

隣接地にある都市型保育園ポポラー兵庫武庫川園は、本学に勤務する職員の子育て支援のため、兵庫医科大学専用枠を設け、お子さんをお預かりしています。火曜日と金曜日は24時間保育も行っていますので、当直等にも対応できます。



## 病児保育室ゆりがご

こどもが熱を出したときや風邪をひいたとき、一般の保育施設では、なかなか預かってもらえません。病児保育室ゆりがごでは、本学・本院の教職員や学生の皆さんが安心して仕事や勉強と育児を両立できるよう、保護者に代わって、病中・病後のお子さんをお預かりします。



## 研修風景



阪神電鉄・武庫川駅下車、西出口より徒歩5分

阪神電鉄・甲子園駅下車、タクシーで約5分

JR甲子園口駅下車、タクシーで約10分

## HYOGO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

兵庫医科大学病院 卒後研修室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

TEL 0798-45-6830(直通)

MAIL sotugo@hyo-med.ac.jp

URL <https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/intern/training/outline/>

病院見学申し込みページURL(随時見学受付中)

<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/intern/training/inquiry/visit/>  
右記QRコードからも病院見学申し込みページへアクセス可



兵庫医大 卒後研修

検索